

東京白楊だより

vol.41

H.30 8.25 (2018)

白楊ヶ丘同窓会東京支部
旧制函館中学校 函館中部高等学校
<http://kanchu-tokyo.sakura.ne.jp/>

第41回親睦大会報告

同窓会のこれから

新たな企画を募集します！

同期会だより

第57期

第67期 志丸会

第71期

第60期 三三三会

第68期 よいよいか

第72期 さつき会

第63期

第70期

第77期

函・中・人 事務局の人々

第76期 高野勝弘 第78期 岡部あき子

函館通信

第97期 松川 文弥

随想

「WCUPTア大会を巡る旅」 第73期 山田 朗

各支部通信

白楊ヶ丘同窓会 会長 石井 直樹

第二回新人歓迎会

お白場でBBQ！



白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様には、お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃より、各方面のご支援にご協力に厚くお礼申し上げます。

一昨年に、前任の67期・安田康次氏から支部長を交代しました、76期の白川正広です。本年度も同窓会・東京支部の親睦大会は、この会報の裏表紙にご案内のとおり、11月3日（土）に、グランドアーク半蔵門で開催の予定です。

今回も、今年50歳の88期の皆さんが中心になって、企画を詰めていただいています。また、運営面でも、若手の層への働きかけなども積極的に行っていただいております。3月に母校を卒業された新卒者からベテランの先輩まで、より多くの皆様にご参加いただきたいと思えます。会員の皆様のお元気なお顔を拝見できる機会を楽しみにしております。

同窓会の親睦大会に、毎回、参加してくださる方々はたいへんありがたいと思えます。一方で過去に参加したことがありながら、途絶えているような人も、50歳前後になれば、仕事が一段落し、子育ても一区切りがつくと思えます。同期のメンバーが集まる機会が増えるでしょうし、少し枠を広げて同窓会にも出席してみたいかがでしょうか。

50歳の幹事期は、毎回、関東在住者だけではなく、函館や札幌からも多くの同期メンバーが駆けつけてくれます。どこに住んでいても同窓会とのパイプがつながり、輪が広がってくればありがたいと思っております。何よりも幹事期の皆さん自身が楽しんでくだされば最高だと思えます。

同窓会も組織である以上、新陳代謝すべきであり、親睦大会も毎回同じ式次第・様式でなければならぬということはありません。若手の皆さんが、自分たちがやりたいやり方で、同期メンバーをどんどん誘いたいと思うような会に衣替えしていくべきだと思います。

支部の取り組みとして、①新卒者歓迎会、②親睦大会幹事期のリレーを絶やさない、③50歳以下の期が同期会を開催すれば支部から補助金を出すという3点の目標を置いていきます。

このうち、①、②は今年も順調です。6月9日にお台場で新卒者を歓迎するBBQの会を持ちました。先輩の皆様からの新鮮な北海道産の魚介類の差し入れ等の手厚いおもてなしもいただきました。

③は今からでも、この文章を目にされた若手の期の方は、ぜひ、名乗り出てくださいたいと思えます。昨年の親睦大会には50歳の幹事期の方が大勢参加してくれましたが、まだ参加者の「平均年齢」は60代後半となっています。同窓会の継続的発展のために、なんとか、その参加者の平均年齢が50歳以下にならないか。30代、40代の皆さんはお仕事や子育てでご多忙なのは理解しますが、最近の通信ツール、LINEやfacebookなどを活用して、より広範囲な会員の皆さんとつながっていきたくと考えております。

役員一同、今後も同窓会の一層の発展に努力して参ります。引き続き、皆様のご指導、ご協力並びにご支援をお願いしまして、ご挨拶とさせていただきます。



第76期 昭和49年卒

白川正広



学校の近況について

北海道函館中部高等学校
第39代校長 田尻勝敏



ご挨拶

白川支部長をはじめとする白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様には日頃より本校の振興と教育活動へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。この度の第四十二回白楊ヶ丘同窓会東京支部親睦大会のご盛会を心からお慶び申し上げます。

私は、今年度の人事異動により北海道根室高等学校から赴任して参りました。道内有数の歴史と伝統を誇る北海道函館中部高等学校で勤務できますことは大変身の引き締まる思いです。微力ではありますが、更なる教育活動の充実に尽力して参りますので、皆様には今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

紙面をお借りし、学校の現状（進路・部活動）、本校の動き等についてお話しさせていただきます。

1 進路状況

この春に卒業した二百三十八名の進路状況についてお知らせします。国公立大学合格者は百十名（昨年度九十一名）・過年度十六名・

計百二十六名。防衛大学校合格者は一名・過年度一名・計二名。私立大学・短大合格者は延べ百五十一名（昨年度百六十二名）・過年度二十一名・計百七十二名。高等看護学校に延べ十五名、専修学校に延べ二名、就職二名という状況です。

国公立大学の現役合格者は、昨年より二十名ほど増え百十名を超えることができました。十二名の合格者を出した北海道大学を始め難関校国公立大学にも合格者を出しています。医学部医学科は、旭川医大一名、札幌医大一名・過年度一名と昨年に比べ現役生がよく健闘しました。また、私立大学においても、早稲田、慶應、明治、法政、立教など首都圏の大学にも例年同様に合格者を出しています。生徒の努力と健闘を高く評価したいと思います。

ただ、総合入試が導入されて以来、道外勢との競争が一段と激しさを増し、道内の出身者の割合が四割を切っている北海道大学をはじめとする難関大学への合格者は伸び悩んでおり、入試結果を分析し対策を図らなければなりません。

文武両道を目指す本校では、例年、部活動加入率が高く、今年度も九十パーセント近くの加入率となっております。生徒は、日々進路目標の実現に向け勉学に励むとともに部活動にも全力で取り組んでいます。

高体連函館支部大会では、剣道部、硬式テニス部、水泳、バドミントン部がそれぞれ男子団体優勝に輝き、中でも剣道部は支部大会三連覇を果たしました。また、陸上部では、札内くんが二百、四百Hで大会新記録を出す目覚ましい活躍をみせてくれました。この他、全道大会へ進出した部活動は、女子バスケットボール部、卓球部、弓道部、柔道部、水泳部、体操部及び囲碁将棋部、LMC、ESS、放送局などです。全道大会では、各部が本校そして函館支部の代表として活躍してくれました。中でも放送局は、創作テレビドラマ部門で最優秀賞となり全国大会へ。陸上部は、男子四百Hで優勝するなど四百リレーを含む八名が全国大会への切符を勝ち取りました。

2 部活動

3 本校の動き

また、野球部は夏の地区大会代表決定戦で惜敗しましたが、全校応援を受け最後まで鏖戦としたプレーを見せてくれました。文化系の吹奏楽局や音楽部などの部活動は、これからコンクールなどが行われたいと思います。

学習指導要領の改訂や高大接続改革などの国の動き、教育推進計画における施策などの道の動き、そして少子高齢化による学校規模の縮小などを受け、本校としても、「特色ある取組」「進学実績」「部活動の取組」「充実した行事」など、これまでの伝統を活かした教育活動の充実ぶりを中学生・保護者、そして地域にアピールしていかなければいけません。

特色ある取組では、医学進学類型の設置・地域医療体験事業の実施・メディアカルキャンプセミナーへの参加など医学部を目指す生徒をサポートするための取組、セントアンドリュース大など海外四大学との連携した取組、オールイングリッッシュによるAL的な授業実践などを。

進学実績では、大学合格者数という数字だけがすべてではないものの、地域の本校に対する期待を受け、国公立大学合格者を定員の四〜五割維持するため講習・模試の指導・面談・出前授業や大学別進路相談会・医進類型などきめ細かな指導を行っていることを。

部活動では、文武両道・生徒の自主性を重んじ、学業とのバランスを取り短い時間で効率的な練習で輝かしい結果を残してきた取組を。

行事では、白楊祭や耐久レースをはじめとした保護者・地域と一体となった全道的に見ても素晴らしい取組など、これらの函中ならではのものを積極的に発信していきたいと思っています。

校内においても「白楊魂」「自主・自立」といった函中生が受け継いできたものを重点にグラウンドデザイン作成、現在の一年生から導入される「大学入学共通テスト」に対応する取組、そして新学習指導要領や間口減に対応した特色ある教育課程の編成などを進めるためプロジェクトチームやワーキンググループを立ち上げ、教員一丸となって知恵を絞り出し動き出しているところです。

未来を拓くために必要な資質・能力を身に付け社会の変化に対応できる生徒、グローバルな視点を持ち、郷土である函館で活躍する生徒の育成を目指すこと。さらに、事実認識↓事実解釈↓判断の問題解決のフレームワークを身に付けられるよう「探求」的な取組を取り入れAI時代にAIが取って代わることでできない価値を身に付け、変化の激しい社会で活躍できる生徒を育てていきたいと思えます。

4 終わりに

同窓生の皆様にはこれからも本校へのご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、白楊ヶ丘同窓会東京支部の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



第41回白楊ヶ丘同窓会東京支部親睦大会

第41回

親睦大会報告

白楊ヶ丘同窓会東京支部



幹事87期の皆さん

白楊ヶ丘同窓会東京支部、第41回親睦大会は2017年11月18日(土曜日)13時より、グラントアーク半蔵門にて盛大に行われました。今大会の幹事は87期生。来年もまた是非出席しようと思っただけのような、「とにかく楽しい、笑顔あふれる同窓会」をコンセプトに企画、実行されました。

会場準備

10:30

87期と理事会メンバーが集合し、会場の設営、受付準備を開始しました。集まったスタッフの朝礼では、配布物整理、受付の準備、会場設営へと役割を班毎に分担しました。展示物の展示、マイクテスト、イベントの音合わせ、ゲストの入場ルートの確認、そして、受付では名札の並び替え、両替の準備等、来場される方々を迎えるため準備に追われました。



会場設営

受付開始

12:30



受付

同窓生が続々と来場、受付作業に追われました。

司会者挨拶

13:00



司会の岡部あさ子氏

定刻どおり開会。総合司会は78期岡部あさ子氏。

開会宣言

13:05

白楊ヶ丘同窓会東京支部長76期の白川正広氏より開会宣言及びご挨拶。

同窓会歌斉唱

13:10

旧制函館中学ご入学の先輩にご登壇いただき、大先輩の力強い歌声のリードで同窓会歌が斉唱されました。



支部長挨拶

来賓紹介

13:20

今回は各校同窓会並びに本部支部の代表及び中部高校の教頭先生の合計10名のご参加をいただきました。来賓を代表して函館中部高校の南俊明教頭先生よりご挨拶をいただきました。



同窓会歌斉唱

ここでイベントの司会にパトナツチ。イベントの司会は、87期の松本篤史氏と、同じく87期の岩本美雪氏。

イベント



同窓会会長石井直樹様に乾杯のご発声をいただき、歓談に移りました。

乾杯



来賓挨拶

次に、登場したのはインパソネーターであるPerformer REI。伝説のバンド、クイーンのパーカー、フレディ・マーキュリーのNARIKIRI Performanceを披露。We are the champions、We will Rock You他、数々のヒットメドレーを振り付けで熱唱、会場のボルテージは一気に最高潮に！



NaoNon

「今年とはとにかくひたすら笑顔になっていただきたくて、とびつきり楽しいPerformanceを企画しました。Performerの皆さんよろしくお願い致します。どうぞー」の掛け声でパフォーマーユニットNAONONが登場、ペッパー警部、UFO、渚のシンドバッド、サウスポーといったピンクレディメドレーを熱唱。大いに盛り上がりました。



司会の松本・岩本両氏

99期朝緑高太氏より、会報「東京白楊だより」原稿の募集を行いました。87期中山一郎氏より、医食同源シリーズの展示即売会、87期なかいれい氏より、絵本「おぼけのマー」のサイン付き即売会のインフォメーションがありました。

インフォメーション



その後Performer全員と会場に集まった同窓生とで「函館讃歌」を熱唱しました。また、会場の正面の壁面には87期のイラストレーター「なかいれい」氏による大型のイラスト「ほごだ? TIME TRIP COOKING」が掲示され注目を浴びていました。



REI



次期幹事88期の挨拶

次期の幹事期である88期の方々が壇上上がり、代表して村田雅彦氏から挨拶がありました。

次期幹事のご紹介

15:15



119期の4名

新入会員の紹介

15:10

平成29年卒119期の石川龍星氏、上貞冨氏、梅崎智之氏、佐藤凱斗氏の4名が壇上上がり、全員から挨拶がありました。



3本締めで閉会

恒例の校歌斉唱は、サプライズで来賓である中部高校の南教頭先生が務めることになり、声高らかに斉唱されました。その後、幹事期である87期の代表、荒谷修司の音頭で三本締めとなり、午後3時半に閉会となりました。

今回の親睦大会運営にご協力いただきました。理、事、会、評議員会メンバー、各期有志の皆様には厚く御礼申し上げます。

また当日運営に関するものは反省改善してまいります。今後更に大先輩から若い期の皆様は楽しく有意義な親睦大会を企画していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

第87期 荒谷修司 記

校歌斉唱と三本締め

15:20



第41回 親睦大会出席者一覧

平成29年11月18日(土) グランドアーク半蔵門

来 賓

函館中部高等学校 教頭	南 俊明	函館東高等学校 関東青雲同窓会 会長	横井 透
白楊ヶ丘同窓会 会長	石井 直樹	函館東高等学校 関東青雲同窓会 副会長	加茂 千恵子
白楊ヶ丘同窓会札幌支部 副支部長	安藤 牧子	函館工業高等学校同窓会関東支部 支部長	本間 和吉
白楊ヶ丘同窓会関西支部 事務局長	山川 泰宏	函館ラ・サール学園同窓会東京支部 支部長	栞原 康雄
函館西高等学校 つまじヶ丘同窓会東京支部 副幹事長	佐藤 雅英		

- 第43期 昭和16年卒 神山茂郎/葛西善一郎
- 第51期 昭和23・24年卒 平野拓夫/三國比左男
- 第54期 昭和21年入学 松田守正/戸根一也/遠藤宏
- 第55期 昭和28年卒 赤澤高
- 第57期 昭和30年卒 小竹嘉子/村嶋泰子/吉田精吾
- 第58期 昭和31年卒 坪田憲俊/永野巖/藤原正樹
- 第59期 昭和32年卒 真船昭
- 第60期 昭和33年卒 飯田幸平/白戸寿男/内藤尚
- 第61期 昭和34年卒 相澤貞俊/大久保泰宏/加藤紀興
/金子公彦/菊池紀邦/長尾邦充
- 第62期 昭和35年卒 池田長/石原雄一郎/堀博子
- 第63期 昭和36年卒 伊東明/小野武司/杉沢雅/土橋道子
/中野陽子/中村崇/山崎良英/
依田洋次
- 第64期 昭和37年卒 佐々木京子
- 第66期 昭和39年卒 石塚昌子
- 第67期 昭和40年卒 岩間昌夫/加賀幸彦/菊池憲子/
相馬研二/松田幹夫/宮川憲司/
安田康次/山崎徹
- 第68期 昭和41年卒 大河原綾子/木戸正文/白崎淳一郎/
田中恵子/内藤和明/横田依早弥
- 第69期 昭和42年卒 伊東英一/梅田五郎/梅田やよい/
江澤富士代/奥野政博/河村裕/
斎藤裕子/佐藤一廣/竹本義明/
花巻省三/松坂きみえ
- 第71期 昭和44年卒 石橋秀樹/加納元雄/川村哲雄/
佐々木康夫/成田秀信/古川哲朗
- 第72期 昭和45年卒 加藤哲夫/小林繁治/谷口雅典/
古旗邦夫/松本浩/村田秀樹/
渡部敏雄
- 第73期 昭和46年卒 山田朗
- 第74期 昭和47年卒 小林隆康
- 第75期 昭和48年卒 金丸洋一/桑原洋子
- 第76期 昭和49年卒 小川浩志/白川正広/曾我正彦/
高野勝弘
- 第77期 昭和50年卒 伴孝子
- 第78期 昭和51年卒 岡部あさ子/垣坂清/柴山智恵子/
島津路郎/斯波宇司/高橋邦明/
塚本良子/長澤一徳/福澤美雪
- 第79期 昭和52年卒 樋口澄則

- 第81期 昭和54年卒 亀谷憲司/松本由美/渡辺由美子
- 第82期 昭和55年卒 清水真
- 第83期 昭和56年卒 田口志保/松山哲人
- 第84期 昭和57年卒 今井雅子/江原みちな/平野素尚
- 第85期 昭和58年卒 加戸茂樹/柳川清尊
- 第87期 昭和60年卒 阿部文快/荒井理恵/荒谷修司/
栗野太郎/池田智之/岩本美雪/
海老名徹/大友如子/角田悟/
工藤祐之/熊谷志麻/栗山ゆかり/
小泉淳/小坂昭二/櫻井直人/
佐々木恵子/澤口亜樹/末永健/
高本真美/田中洋/田原寿一/
津越敬寿/中井令/中谷考志/
中山一郎/野本奈緒子/平賀茂貴/
古川祥司/堀川祐子/松本浩一郎/
松本篤史/村井英友/山口愉香/
吉田玄/渡辺岳夫
- 第88期 昭和61年卒 内田佳織/大田真佐美/川守田正也
/菊地なぎさ/小島和代/橋山智訓/
村田雅彦/山田力/吉浦紀晃
山形リサ
- 第94期 平成4年卒 今田光信/長谷川賢幸
- 第96期 平成6年卒 木村暁史/野村武史
- 第97期 平成7年卒 朝緑高太
- 第99期 平成9年卒 尾形圭邦/宮腰寛之
- 第102期 平成12年卒 小林秀輝
- 第105期 平成15年卒 石川龍星/上貞冨/梅崎智之/
佐藤凱斗/
石川真希

参加者数 163名



同窓会のこれから(新たな企画を募集します!)

アイデアが採用されたら
函館の季節の逸品プレゼント!



メールまたは郵送にて
9月末日まで受付中!
tonton@mri.co.jp



私が東京支部との関わりを持ったのは35年以上前、まだ学生の頃でした。同期に誘われて親睦大会に行ったものの、諸先輩の人数の多さに圧倒され、しかも、語られる話の多くは自分が全く知らない頃のことばかりで、学生には敷居が高い場所だなあと感じ、それから数年は足が遠のいてしまいました。

その後、評議員になったことをきっかけに、しばらくぶりに親睦大会に参加したところ、学生時代にお世話になった横田先生や柴田先生が相次いで学校を代表して出席され、前よりは馴染めそうな気がしたものの、今度は私の同期も、前後の期の方もほとんど出席者がおらず、先細りが懸念され始めていました。

そうした状況が数年続き、同窓会の先行きが案じられ、大会運営の抜本的な見直しが必要であることとで理事会のメンバーの認識が一致した時に発案されたのが、「50歳幹事制」の導入でした。我々81期も2011年に担当し、北海道から沖縄まで50名以上が集まり、翌朝まで高校時代の思い出話や近況に花を咲かせることができました。その延長で、「大人の修学旅行」「セカンドアルバム(卒業アルバム第二弾)」、「全国各地でジーンズカンパティー」など、相次いで同期が集まるイベントができ、50歳幹事制には大変感謝しています。



東京支部副支部長
81期 松永 久

さて、今、東京支部は新たな課題に直面しています。一つは「幹事期としてお願いしている50歳の

株式会社イコー建設

一級建築士事務所

代表取締役 佐藤 一廣 (69期)

〒165-0033 東京都中野区若宮1-28-1 野方会館2F
 電話: 03 (3223) 0168(代) FAX: 03 (3223) 0658
 mail: k-sato@f-rn.co.jp



株式会社宮川憲司建築事務所
 Environmental Planning & Design
 東郷神社 至誠館
<http://www.k-miyakawa-arch.co.jp>



志丸会

東京支部
 第67期 昭和40年卒業

同期会だより

第57期 越後 明

「初めての北海道新幹線の旅 & ミニ同期会」

平成29年10月18日の東京駅22番線ホームに吉田精吾君引率幹事を始めとする男女11名の同期が集結。昨年の「北陸新幹線へ行く金沢旅行」に続く「初めての北海道新幹線での旅」の始まりだ。最初の目的地である大沼までは新函館北斗駅までの4時間弱を含めても楽しさが先だつてか大して苦にはならない時間だった。大沼プリンス周辺の紅葉もちょうど見頃で、凜とした気温も夕暮時の駒ヶ岳の雄姿も美しかったし懐かしかった。

午後6時から本町「魚まさ」なる居酒屋での久しぶりの「ミニ同期会」がスタート。上記の11名と札幌からの4名、地元の10名の総勢25名での中宴会へ。

地元幹事長役・福田肇君の冒頭の挨拶では第1回の57期同期会は「入学して25年」の昭和52年8月6日（ホテル函館山）が初めてで、爾来38年間に函館、東京、札幌での開催は実に17回にも及ぶとの報告があり、全回出席は桜庭、濱田、佐藤（二上）、堀井の4名、一度の欠席組は9名などの紹介もあった。この間には「函中創立110周年、卒業して50年&古希を祝う会」（平成17年）、「函館開港150周年」（平成17年）、「喜寿を祝う会」（平成21年）、「函中創立120周年、卒業して60年&傘寿を祝う同期会」（平成27年・旅館一乃松）などもあったとのことだが、私の記憶では有志による「還暦を祝う会」なる集まりや今回のようなオリーブシヤル以外のミニ同期会もあつたりで、とにかく、何故か57期の結束は堅いものだと思う。多くの朋も逝ってしまったが、既に「蓋棺記」組の筈なのに57期は未だくくややポテンシヤルが高い。

（追記）

今回は2泊3日の旅であつたが、上記に記載されていない2、3の思い出話を追加したい。

2日目に有志7名は大沼遊覧船観光に繰り出した。文字通りの雲一つない秋晴れで、駒ヶ岳の雄姿が眼前に迫ってくるようだった。波は穏やかで、湖水からの紅葉はまぶしいばかりで、心地よい秋風にまさに桃源郷の境地だった。下船した後、新井満が作詞・作曲した「千の風に乗って」の歌碑があるというので、船着場から5分ほどの西大島を訪ねた。直径3mほどの円盤状のモニュメントは大沼の美しい自然によくマッチしていた。

次は電車で一路函館へ。お目当ては懐かしい市電に乗って、函館山。ところがロープウェイ乗り場についたら、定期点検のため休業中とあつて、臨時運転中の市バスに乗ることになった。一挙に登りきるよりも車中からは刻々と変わる景色が見られ、これはこれでも趣があつて一同満足だった。頂上に出ると、いつ見ても素晴らしい市内の全景が一望できて、改めて「やっぱり故郷はいいなあ」という実感に浸ることができた。飛ばされそうなほどの強風であつ



たが、思い出にと記念撮影して、夕刻からの同期会へと向かった。今回は前回の「金沢・輪島ツアー」と違い、驚くようなハプニングもなく、無事に帰って来れたのは何よりだった。これからもこうして元気なうちは折に触れて旧交を温めていきたいものだ。

（吉田精吾 記）



第60期三・三会 飯田幸平

我々三・三会会員は平成二十八年に喜寿を迎え、それを記念して最後に「函中三・三会全国集会」を開催することになりました。地元の函館幹事、森元治、磯部美沙子、伊藤忠臣、亀井慧子、小浅憐司、西田哲夫、正岡健三、水谷浩之、山村俊一、が中心になって、平成二十九年早々に準備が始まりました。

開催日は平成二十九年十月十一日（水）、場所は大沼グリーンピアと決まりました。集会のサブライズとして、参加者に抹茶を味わってもらうこと（呈茶）を東京支部幹事が企画しました。当日は、四時半過ぎに迎える大型バスが到着し、参加者は、受付後担当の上平慶一の案内で三々五々ホテルのロビーに設けられた茶席へ向かいました。茶席では着物姿の鶴丸迪子、山根信子のお茶を点てる姿に感激、古帛紗を手にしたお運びの松田栄美子、宮川満子の立ち振舞いもなかなか板についていました。初めての経験の人は飲み方を教わった後に干菓子をいただき、ゆつたり飲んだ後、お茶が甘いのには驚いていました。用意した茶碗の形、絵柄、窯元などの質問が説明役飯田幸平などにあり、皆さんの関心の深さが分かりました。

懇親会の会場では十二のテーブルが並べられ、午後六時に開始しました。函館支部幹事森元治が歓迎の挨拶をした後に物故者への「黙祷」の発声で、一同亡き同期生を偲びました。この集会で函館が未来に向かって歩んでいる姿を見て、体感して欲しいとの話がありました。

東京支部幹事内藤尚の開会の挨拶で、これから年齢を重ねてお互いの交流が必要になる折、おもてなしの大切さの説明がありました。内藤が「乾杯」を発声し懇親会に入りました。学生時代の思い出、卒業後の生活、消息など話は弾んでいきました。東北から参加した

金田千鶴子から銘酒浦霞が懇親会に寄付されました。先の東北大地震で金田千鶴子は塩釜で、門脇啓子は仙台で被害に合い、それから六年を経て心の落ち着きを取り戻し、同期会に参加できました。宴は進み「愛わらないねー」が挨拶の言葉で、高校生の時代にすぐなりきる所が同期会の良さでしょうか。

歓談のうちに閉会が迫り、カメラマンを買って出た工藤哲也の指示で、一同は若返った顔で記念撮影のカメラに収まりました。午後八時に札幌支部の幹事谷口利晴から閉会の挨拶がありました。解散後、呈茶に行くグループ、二次会に行くグループ、函館へ帰るグループに分かれました。

二次会は、懇親会後も更に盛り上がりたいたい人、まだまだ昔の仲良しと語り合いたい人、そして興奮を少し和らげたい人など約五十人が別室に集いました。入浴を済ませ浴衣姿で参加する人もいて、なんともくつろいで、いいムードでした。沢山の人がカラオケで、自慢ののどを披露して喝さいを浴び、あちこちのグループが尽きない昔ばなしに花を咲かせていました。翌十月十二日ゴルフ組幹事の水江彰一と七人が八時前にホテルを出発し、大沼レイクゴルフに到着。スタートの九時には前夜来の雨はピタリと止んで、傘をささずにラウンドできたのはラッキーでした。前日のお酒を飲み過ぎて、前半はシヨットが乱れていましたが、次第に慣れてきて、楽しいラウンドでした。駒ヶ岳の雄姿がくつきり

と見えて、雨に濡れた後の赤や黄色の紅葉がとて綺麗でした。

函館近郊観光組は、九時にホテルから大型バスに乗り、大沼や新しい新函館北斗駅を経由して、七飯町の「北海道昆布館」へ行きまし。南茅部昆布は日高昆布や利尻昆布から比べる知名度が低いとの危機感から、函館昆布をもっと知ってもらおうと平成五年に昆布館が設立されました。映像館でアムール川沿岸から発生する流水と昆布の生育の関係を大画面で説明してもらいました。資料館では昆布の歴史、生態、人等との関わりが展示されていました。

次にバスは北斗市の観光スポット「きじひき高原」へ到着し、そこで眼下の函館山、市街地、懐かしの仁山高原等をカメラにおさめました。洞爺丸遭難現場の七重浜の脇をバスは走り、函館の市街地を経由して、函館ドック隣の「函館市国際水産・海洋総合研究センター」に着きました。事務局長から「センターは国際的な水産・海洋に関する技術研究拠点で、函館市の水産ブランド向上と研究の成果を世界に発信する」と説明があった後、解体実習室、共同実験施設等を案内されました。研究室のドアを開けたら市内の中高生が実習中で、このセンターから人材が育てられ、新しい技術が生まれる予感がしました。昼食は五島軒でカレイライスを美味しくいただきました。今や五島軒のカレイは全国ブランドです。昼食後は最後の見学スポットの立待岬へ行きましたが、強風のため

バスの窓からの眺めとなりました。谷地頭を経由して函館駅に午後二時半にバスが到着し、観光は無事終了しました。名残をおしみつつ解散しました。

これからも各支部の三・三会活動を盛んにして、また全国集会を企画してはということになればと夢見ています。

最後になりましたが、この全国集会の準備を長期間献身的に行っていた森さんをはじめ函館幹事団の皆様から感謝申し上げます。



第63期

依田洋次

平成27年63期の会「東京大会」

63期会では毎年同期会を開いており、2〜3年に1度大会と称して東京、札幌、函館で開催しています。最近では平成27年5月21日から1泊2日で東京大会が開催され48名出席しました。1日目は「東京スカイツリー」を観光し、新橋の「第1ホテル」で宴会、宿泊して2日目は「はとバス」の「横浜ベイサイドストーリー」というコースでベイブリッジ、港の見える公園、横浜中華街、「横浜マリントワー」、横浜港のクルーズ船等を観光しました。そして夕方新橋へ移動して「銀座国際ホテル」にある「カラオケ・パントラ」でお別れ会で積もる話やカラオケで楽しい夜を過ごし再会を約束して会は終わりました。

平成28年63期の会「函館大会」

平成28年には9月2日、函館駅前のホテルを会場にして、北海道新幹線が開業したこと、函館中部高等学校卒業55年を記念しての同期会が開催されました。この時も道内はもとより遠くは東京や九州から、全体で55名の出席があり、92歳の恩師加藤正之先生が元気な姿を見せてくれました。新幹線クイズを楽しんだり、仲間の伴奏で昔懐かしい童謡や校歌を全員で声高らかに歌いとても楽しく盛会のもとに会を閉じました。なお、この時の様子は北海道新聞に紹介さ

れています。

平成30年上野「観桜会」

今年33回を迎える東京の会は、恒例により「上野の桜を観る会」として今年3月31日(土)午後1時から上野公園のレストラン「精養軒」で行われました。このところ10年来精養軒でフランス料理を頂きながら歓談を楽しんでおります。上野公園の桜が満開の時期を狙ってこの時期を選んでいるのですがなかなか満開にびったり合わせるのが難しく、今年は満開を1週間ぐらい過ぎていました。主に東京近郊と札幌、函館、仙台、盛岡、さらにアメリカ力のヒューストンから駆けつけてくれた人を含めて31名の出席者となりました。満開を少し過ぎていたとはいえ上野公園は花見客で大変な賑わいでした。



会はず白楊ヶ丘同窓会長をしていて函館から来てくれた石井君が挨拶の中で、北海道新幹線開通後

の函館の現状として人口減や経済、観光等について話をする事から始まり、遠くから来た人に近況を話して頂きました。ヒューストンで会社を経営している打越君はそろそろ会社を解散したいのだが雇用しているアメリカ人の解雇がなかなか難しい話をしてくれました。また函館の同期会の会長をしている渡辺君はご夫妻で出席されて楽しい話が続きまして。皆さん高齢になりもうそろそろやめようと考えているのですが、毎年この時期に上野で会うのを楽しみにしている同期生が多く、なかなかやめられません。まさに「同期会最後最後とまだ止めぬ。」の心境です。

会の終了後散り始めの上野公園の桜を眺めながらの散策後の2次会はこれも恒例の池之端の「笑笑(わらわら)」で行われ高校時代の思い出話に時の過ぎるのを忘れしました。さらに有志の人たちは3次会、4次会と梯子をしたようです。

**白楊ヶ丘同窓会東京支部
第2回新人歓迎会**

次に今年6月9日(土)の白楊ヶ丘同窓会東京支部第2回新人歓迎会に63期の有志が参加したことを報告します。場所は東京お台場の「デックス東京ビーチ」の屋上にある「マジキューBBQCAFÉ」というバーベキューガーデンで行われました。出席者は31名、新人は今年度120期生と昨年度の119期生合わせて9名で、当日最年長の63期からは理事の土橋さんが音頭を取って、中村、伊東、依田、中野

の5名が出席しました。天気が良い、ピルの屋上なので少し暑かったのですが、それをものともせず皆さんよく食べていました。中でも東京の浅草で会社を営んでいる当日参加の同期の中村君が北海道から直送してもらって差し入れてくれた魚介類がとてもおいしくて皆さん喜んで食べていました。特に生きが良いほたて、かき、ホッケ等印象に残る美味しさでした。デザートは土橋さん差し入れのサードテイワンのアイスクリームをとっても美味しく頂きました。午前11時から午後2時までバーベキューを楽しんだ後同期の我々は浅草にある中村君のマンションに伺って2次会をしているいろいろな話に花が咲きました。また浅草ではその日ちようど鳥越神社のお祭りでお神輿がたくさん出ていて散策しながらお祭りを楽しみました。途中近所の都立白鷗高校の部活動で行っている太鼓の実演を街角で観る機会があり、その迫力に感動しました。歓迎会に参加したおかげでミ二同期会ができて楽しい思い出になりました。



第67期志丸会 三上英雄

志丸会との出会いは40数年前同期の小笠原さんの経営するレストランが始まりだったと記憶しており

ます。同級生はエリートが多く、落ちこぼれの私は参加するには抵抗感があり、また一抹の不安がありました。そんな誘いを受け励まされ勇気付けられ殺伐とした都会の中で生きて行く決心をさせられたのが志丸会で、そして今があるのです。昨年6月松田幹夫さんの企画で私の病氣回復と最近志丸会のイベントに足が遠退いている中川真さんを励まそうと(写真1)の埼玉県滑川町「花和楽(かわら)の湯」で激励会を開いていただきました。



温泉に浸かりながら酒を飲み交わし高校時代から今日までの生き様を語り合い、それでも語り尽くせず二次会は東松山名物「やき鳥」で(写真2)酔い潰れるまで飲み明かしました。松田さん、加賀さん、相馬さん、岩間さん、山崎さん本当にありがとうございました。



を感じながらも牀と頭を使って、ストレスなど笑いとばし、したたかに生きて行きます。

第68期よいよい会 木戸正文

毎年二回(一月と六月)首都圏在住者を中心として同期会を開催している。

今年も1月の第4(最終)土曜日恒例の志丸会(新年会)が新宿西口店「がんこ寿司」で23名の参加(写真3)があり、中でも札幌から西堀さん、函館から澤口さん、仙台から澤田さんが、遠くから駆け付けてくれました。



そして久しぶりの参加の小野沢さん(元早稲田大学教授で柔道界で活躍された)は皆さんから大歓迎、モチモチでした。やさしい人柄がそうさせたのでしょう。これからは志丸会をベースに老い

六月例会は六月二十三日、山梨石和温泉にて現地集合、十八時宴会開始とし開催。当日、新宿出発組は甲府駅北口のワイナリー「サドヤ」にて酒蔵見学、試飲。甲州夢小路で昼食後、アウトレット 栢梗信玄餅工場へ立ち寄りホテルに入った。

さて、大沼だんごが二種類あるのはご承知かと思うが山梨の信玄餅も二種類あるのをご存じだろうか。北杜市の金精軒製菓と笛吹市の栢梗屋が求肥(ぎゅうひ)にきな粉と黒糖蜜の信玄餅を販売している。パクツたのは栢梗屋とか。賞味期限の近くなった商品(食品)を回収してアウトレットと称して販売することは議論のあるところだが栢

榎屋、山梨の元気企業のひとつであらう。翌日は梅雨明けを思わせるような良い天気になった。身延山に行く者、友人と会う者、それぞれが発して行き、残った者でホテル近くの宝石庭園、モンデ酒造を巡り、十四時石和駅で解散とした。

私は甲府に戻り、大学時代からの友人に会いに行った。彼は昭和大学が実施している、マダガスカルの口唇口蓋裂の子供達への無料手術プロジェクトにボランティアとして参加している。マダガスカル

と言えば曾野綾子さんの「時の止まった赤ん坊」という小説があり、主人公のモデルが遠藤能子さんという修道女であった。友人の活動の話がきっかけでこの本を読んだ。遠藤能子さん聞き覚えがあり、小学校時代の遊び仲間である遠藤君に確認した。お姉さんであるという。函館白百合高校を卒業した後、大学で助産婦の資格を取った後、修道女としてマダガスカルへ派遣された。二〇〇六年に六十三歳で風土病で亡くなられたが派遣当初、一人で頑張っていたちっぽけな助産施設が今では日本の援助で手術施設のある立派な病院が建てられ、地域社会に貢献しているとのことである。まさに「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ…」の聖書の一節そのままである。三十年前のこの小説が最近再版されたとのこと、一粒の麦として生きた、ふるさとの先輩の偉業、一読されるかと思う。

今回は来年一月・六月に例会を開催。今回都合のつかなかった方、

是非ご出席いただきたく。ご案内はメールでお知らせしています。木戸宛お問い合わせください。
icb10806@nifty.com

第70期

佐藤勝義

今年も、2年ごとに開催している、我等70期の同期会を、5月26日(土)に東京・新橋の「第一ホテル・アネックス」において開催致しました。

遠く札幌と函館から、毎回、欠かさず参加して頂いている熱心な常連の方たちを含め、当日は女性5名、男性16名の合計21名に参加して頂きました。

今回は「函中卒業50周年」の節目の同期会と言う事でしたが、今回も懐かしい学生時代の話と、やはり老後の事が話題の中心となりました。

参加者の一部の方からは、これからの同期会を毎年開催にしたらどうか、と言う意見もありましたが結局、結論に至らず、その話は次回へ持ち越しとなりました。

2次会は今まで居酒屋を利用していましたが、今回はちよつと離れた場所でしたが「賑やかな洋風パブの店」へ移動して、無事に再集合。

2列に向かい合った椅子とテーブルの座席だったので、打ち解けた雰囲気味わう事が出来ました。次回の開催は元号も新しく変わつた、2年後の2020年5月第4

土曜日です。7月24日の東京オリンピック開幕が間近に迫った東京で、2ヶ月早いその前夜祭を楽しむのと、我々が「古希」を無事に迎え終えた「70期・70歳」のお祝いを、みんなで一緒に分かち合いたいと思います。

2002年以来16年ぶり3回目。当時、熱心に同期会の世話をしてくれていたのが、ニュートキーに勤めていた相馬篤君(8組)。当時彼がマネージャーをしていた銀座すずらん通りのピヤホール「ミュンヘン」を、もののはずみで(?)引き受けてしまった親睦大会の幹事役をこなすための打ち合わせや、同期会の準備で、格安料金で随分使わせてもらった。ところが、昨年、親睦大会の出欠連絡はがきに、彼の娘さんから「父は8月に亡くなりました。」との報告。昨年6月に行った同期会大会には元気な姿を見せていたのに、家族にも気付かれずに、急性脳出血を起こしたらしい。同期の皆に、衝撃が走った。

「今年、彼の追悼のために桃杏楼でやろう！」と発案して自ら予約を入れたのは川村哲雄君(2組)。そして、案内状の発送と出欠取りまとめを買って出してくれたのは、佐藤元嗣君(8組)。

そのようにして、今年も6月の第3土曜日に東京地区の同期会は開催された。

函館から小坂雅敏君(6組)が参加、今最も力を入れている地元でのぶどう作りを、熱を込めて語った。ワインの原産地表示のルールが変わって、「国産ワイン」を称するには日本で穫れたブドウを原料にしなければならなくなったが、温暖化の影響もあって、今や国内でのブドウ栽培最適地は函館近辺となり、大手醸造メーカーも進出して函館はちよつとした葡萄ブームなのだとか。彼は数年前からブ

ドウ栽培を志して準備を進め、「株主」ならぬ「苗主」を募って事業を展開するらしい。今年の大参加者は19人。同じ会場で開催した16年前に比べれば、半減してしまった。

集まった同期生は、小坂君ほどアグレッシブではないにせよ今でも現役を続けている者、悠々自適の生活を楽しむ者、孫のお守りから解放されたら老親の介護に忙しい者と様々だが、今日、無事に、元気に集まることができる幸せをお互いに確かめるためにも、より多くの出席者が集える会の再構築を、模索して行きたい。



第71期

加納元雄

今年の第71期同期会大会は、数寄屋橋交差点の「ニュートキー」東杏楼銀座店。実はこの会場は、



第72期 さつき会 笹川浩史

「遠い世界に」

「竹田の子守唄」

「悲しくてやりきれない」

とくれば、言わずと知れたフォークソングの名曲。私たち72期が函中生だった昭和40年代前半は、世の中に新しい音楽の波が押し寄せた時代でもありました。

当時、72期を代表するバンドが「MG4」。最新流行の男性化粧品名をもじった男声四人グループのハーモニーは白楊祭などのイベントでいつも喝采を浴びたものです。

その「MG4」がほぼ半世紀ぶりに今年5月19日、東京同期会「さつき会」に再結集しました。

メンバーは会田雅樹君、加藤泰君、佐藤桂樹君の三人。本来加わるべきもう一人の高田光孝君は残念ながら早世し、オリジナルメンバーによる復活は成りませんでした。が、幹事団より笹川がギター伴奏で加わり、「NEWMG4」が出来上がったと言わなければならない。

三人が揃って一堂に会するのは意外にも卒業以来とか。しかも佐藤君は札幌、会田君は函館からの参加で会えるのは会の当日。「歌ってみるか」に始まり、冒頭に挙げた曲目選びやパート割りなど、すべてはメールのやり取りのみ。

「高い声が出ないからキーを下げて」「いや、俺は低い声が出なくなった」：奇る年波の会話も楽しみながら各自単独練習を積んで、いよいよ5月19日当日。

早めに集まって音合せをしてみると、さすがの息の合ったハーモニーは健在。彼らには長いブランクなど無関係でした。

さて、今年のさつき会は「伝説のバンド復活か！」の前宣伝も効いたのか、51人もの大人数が会場のアルカディア市ヶ谷に集合。大賑わいの中、定例会がスタート。イベントの口火はゲーム大会。昨年のクイズ大会同様、全員が4チームに分かれ、昨年の「頭脳」から今年は「技能」の競い合い。ダーツの矢をふわふわボールに代えた「ソフトダーツ」で的当ての制球力を競った後は「スプリンター」で手先のふるえをチエック。最後は定番の「輪投げ」決戦。有志提供の賞品分捕り合戦は大笑いの内に決着がつかしました。



一同ゲームで遊んだ後はいよいよ「NEWMG4」の登場。「待ってました」のかけ声で会場は一気に歌声広場、いや酒場の雰囲気。

「遠い世界に旅に出ようよ...」の歌詞そのままに思い出の歌の世界へ。そして盛り上がった所で締めは全員で大合唱。もちろんこれを一音楽しんだのはマイクの前の四人だったに違いありません。こうして定例会は来年の再会を期して幕を閉じましたが、火のついた人たちは当然これに飽き足らず、歌声酒場は二次会、三次会へとなだれ込んで行ったのでした。

第77期

伴 孝子

第77期(1975年卒業)

東京同期会へむけ、前進中

私達の同期会は、これまで、毎年函館在住の同期生が企画してくれていましたが、全国で活躍する仲間が参加しやすいよう場所を変えての開催にチャレンジすることにしました。昨年は札幌で43名が集まり、久々の顔ぶれが揃いました。今年も東京を開催地に決め、本州各地、北海道からもたくさんの方が参加する予定です。先日、東京地区をまとめる若生直さんを中心に、吉崎収さんと私で中間打合せをしました。準備は着々と進行中です。打合せ後、「八雲町」を店名に冠せた居酒屋で同期会成功の前祝いをしました。ポタン海老、ほっけ、ほたて、じゃがバター塩



辛添え、太いアスパラ：うめくてうめくて、たまらねえ味だべや！

開催は、10月6日土曜日です。第一部は、同期生が主催する「舟遊び みづは」に乗船し、神田川や隅田川を巡ります。第二部は、銀座のど真ん中「ギンザコア」のレストランを会場に選びました。函館に実家がなく帰る機会が難しい方、なんとなく足が遠のいてしまつた方、関東・本州各地で活躍するそんな方達に呼びかけています。髪が少々、薄くなり、白くなり、目尻のシワが人生をきざむように深くなり、ひよつとすると再会が、淡い初恋の思い出を壊してしまいかもしれません。でも、その変化はあなたただけではありません。人生100年時代、新しい発見と出会いがきつとあります。この記事をご

第71期東京地区同期会

七草会 HPにて情報発信中
第79期 1977年卒業 <http://chubu79.html.xdomain.jp/>



覧になり、まだご案内が届いていない方、私達も必死で皆さんの住所を尋ねていますが、見つけれない方がいらつしゃいます。ぜひ、下記へ、ご一報くださいませ。
【問合先】〒三三〇・一一七七 川越市かわつる三芳野
一・一七・二〇二 若生直 宛
メールアドレス
wolfy57-mako@w2.dion.ne.jp



同窓会を支える縁の下の力持ち

事務局の人に 聞きました。

- 1 同窓会に関わるようになったきっかけについて
- 2 趣味、仕事、最近取り組んでいること。
- 3 今後、同窓会で行いたいこと。



函館から 世界の中心へ向かう 達人たち
新企画！ 各方面でユニークな活動をされている卒業生をご紹介します。
ご紹介・ご推薦・立候補、随時募集中！

高野 勝弘
たかのかつひろ 第76期

- 1 個人的な印象、あるいは記憶としては、まさに降ってわいてきた話でして、「どう。」といわれて「はい。」というやりとりがあった程度です。そのような返事となったのは、母校に恩返しのようなことをさせていただくことができればなあ、との気持ちがあったからだと思います。
- 2 趣味は、ゴルフと競馬です。どちらも緑の芝生に関係します。ゴルフは、健康にももちろんよさそうですが、精神的な安定に役立つのではないかと期待しています。いわゆる平常心のことですが、ゴルフは平常心が保てないといいスコアが出ません。最近では以前よりは平常心が保てるようになったせいか、スコアもまずまずで日常生活にもいい影響を与えていると思います。競馬については、予想して外して楽しんでいるだけです。
- 3 昨年から新人歓迎会をノンアルコールのBBQで昼間に開催していますが、新社会人歓迎会をアルコール付のBBQで夜間開催するというのは如何でしょうか。



岡部あさ子
おかべあさこ 第78期

- 1 78期の岡部あさ子です。東京支部との関りは、同期の評議員・垣坂さんが1998年6月～2000年8月まで米国赴任した際、お留守を預かってからそのまま継続しています。10年前、78期が同窓会のイベントを担当しました。打ち合わせと称する飲み会が続き、当日朝までバタバタしてましたが、久しぶりに文化祭のノリを味わいました。
- 2 普段は、神奈川県の手話通訳者として、病院、企業、学校など生活のあらゆる場面に派遣で出向いています。心臓が破裂しそうになったのは警察の取調室です。普段行けないところに行けるのが怖くもあり、楽しみでもあります。こちらの活動も20年近くになりました。毎年通訳のニーズが増えているので、還暦過ぎた今も引退できそうにありません。手話以外では、地域の老人ホームと小児病棟に月1回出前朗読に行き、落語やエッセイ、アンパンマンなど読んでいます。今年初めには、視覚障害者向けに角田光代の「Presents」を読み、録音・校正・編集を繰り返し、CD化しました。
- 3 同窓会は遠い親戚の集まりのような感じがします。今後も老若男女が「あずましい」と感じられるように、若い人たちの新しい発想、先輩方の知恵と経験が融合できればいいですね。



砂町眼科
院長 葛西浩 (73期)
<http://www.sunamachi-ganka.jp/>

茗荷谷かさい眼科
MYOGADANI KASAI EYE CLINIC
<http://myo-kasai-ganka.jp/>

76期東京地区同期会

(昭和49年卒業)

定例の「あす76会」ゴルフコンペ；同期の皆様のご参加歓迎します。
函館・札幌及び海外などから同期メンバー来訪の際に、
同期の集まりを開催します。「集まれるときに何度でも！」
LINE、Facebookで同期メンバーのつながりを広げていこう！

函館通信

第97期 松川 文弥

高校卒業後、東京で大学生活、社会生活を一年ほど行い、三五歳で函館に移り住み、はや七年が経ちました。子育てもしながらだと、あつという間に時間が過ぎております。

函館の四季折々の事柄を季節ごとに分けて、みていきたいと思えます。ときには季節を越えてみるものもありますが。

春

函館の春は遅いです。東京で桜が咲き始める三月下旬はまだ雪が残っています。特にここ数年は雪が多く、春が待ち遠しいです。四月の入学式はまだ寒く、コートを着ての参加です。そして四月後半、半年続いた雪、寒さがなくなると、桜のつぼみができ始め、ゴールデンウィークに入るとついに桜が開花します。連休中が桜の見ごろで、各所で桜まつりが開かれています。



夏

函館の夏はいつからなのだろう。そんな日思いながら過ごす六月です。夏物への衣替えを躊躇し、ストロップをしまつていいのかわどつか悩んでしまいます。七月

月になりやつと、半袖を着られる暖かさになりました。が、少し曇つてくると寒く、特に夜は長袖必須です。この時期から函館市内、近郊でイベントが盛んになります。寒いけど納涼祭りや春先から行われているお寺でのイベントなどが増えてきて、七月中旬に最初の花火大会「函館新聞社 函館港花火大会」が開かれます。ここでやつと夏がきたと感じる日です。海では六月からのイカ漁があり、七月中旬からは浜辺に昆布が干してある風景が増えてきます。短い夏を思いっきり楽しもうと若者がくりだし、観光客が増えてくる時期です。七月上旬にはマラソン大会も行われ、ハーフ、フル合わせて八千人ものランナーが函館中を走りました。

八月になると恒例の「函館港祭り」が開かれ、花火大会、いか踊りの行列が大門、五稜郭地区で二日間に行われ続けます。今年から五稜郭地区のスタート地点が中島廉売から千代台前に変更されました。函館三箇目の花火大会が八月二十日ごろに行われる「湯の川花火大会」です。この花火が終わると、お盆も終わり、函館の夏も終わつたという感じです。

秋



まだ暑い日はたまにあります。が、夜は基本長袖なので、九月から秋としましよつ。そして北海道の秋といえは「食べ物」。収穫を祝う祭りが各地で開かれます。そのトップバッターが九月上旬に開かれる「グルメサカス」。大門のグリーンベルト、朝市横の駐車場を借り切つて、道南、東北、関東、大阪、海外などからおいしいお店がたくさん出店

されます。おいしいお店は行列がでるので時間を考えていくのがコツです。また十月になると香雪園の「もみじフェスタ」が有名ですね。園内にあるもみじがライトアップされ、昼だけではなく夜も楽しめます。幻想的な雰囲気なので一見の価値ありです。その他、青年センターや四季の杜公園、函館公園などで様々なイベントが毎週末繰り広げられています。おいしい野菜、肉などを堪能する季節ですね。お寿司については年中食べられますので、それとは別です。また例年九月の最終土曜日は函館本部の総会・懇親会が五島軒で行われています。東京支部に押され気味ですが、二百名以上の函館の同窓生が集まり、高らかに校歌を歌つてお



我が中部高校については、新校舎になり二十年以上が経過しました。昨年は夏から冬にかけて外壁、内装工事をしたようです。一時、校舎全体が工事中で防護ネットに覆われ、黒い要塞となっていました。今はきれいに外壁も塗り替えられ、いつものオフホワイトの壁となっています。

また子供向けのイベントは通年あり、十一月には「ふわふわ」が新しくなつた函館アリーナで行われます。函館アリーナは、あの函館出身のロックバンド「GLAY」がコンサートした会場としても有名です。他に、一昨年にできた駅前元和光ビルあとに建設された函館キラリスに入っているみらい館、キッズプラザなども子供遊び場としてにぎわっています。一説によると東京

地区はキッズが室内で遊ぶ場合、一時間三百円など時間制なのに対して、函館では一回三百円で何時間でもOKととてもお得になっています。みらい館は未来大ともコラボしているいろいろな最先端の遊びがありますが、割と空いており、ゆつくりと楽しめる場所となっております。



冬

函館の冬は十一月から始まります。紅葉がおわりと、まず登場するのが雪虫です。自転車に乗っていると口に入ってくるあの雪虫です。子供たちは、白いものが浮いているので楽しんでいますが、大人はこれを見ると、雪かきの準備です。そして十一月後半に初雪、十二月には本格的に雪が降り、積もつて正月となります。正月近くになると気温と海温との温度差から海から蒸気があがる現象が見えます。これこそ雪国で海の街だからこそ見える景色ですね。(写真ではわかりにくいですが)



また季節を通じて最近ではバル街も訪れており、多くの地元客が西部地区や本町地区でバル街を楽しんでいます。とくに西部地区は地元でも知らない名

店が隠れており、バル街を通じて初めて知るといってお店も増えてきています。さらに二年ほど前にできた石川町の萬屋書店、朝七時から行っている本屋さんですが、雑貨類、玩具、文房具、CDなどもあり、寒い冬に過ごす場所としてはとても快適です。もちろんお目当ての本を探すこともいいですが、ゆつくりとカフェに入つて「コーヒ」を飲むだけでもゆつたり過ごせます。常に人はいりますが、混んでいるという感覚がないのもいいです。他にもゆつくり過ごせるカフェが多くなつているのも魅力です。

函館は以前とは違う楽しみが増えてます。人口減少、産業衰退、イカ漁不振などの寂しい話もありますが、これから先はまだ未知です。今ある資源をフル活用して、みなさんがいつまで楽しめる街になつていくと思えます。

88期のみなさん！東京に集合です！！

> 昭和61年卒(昭和42, 43年生まれ)

人生100年時代の折り返し！久しぶりに集まるべ！

日時：11月3日(土、祝日)、12時～15時
場所：ホテル グランドアーク半蔵門

問い合わせ先：kanchu88@googlegroups.com

W・CUPロシア大会を巡る旅
(サッカーを通して出来るボランティアに
参加して学ぶ街と文化)

第73期 山田 朗

福島南相馬の中学生をW・CUPに

前回4年前のブラジル大会からあつという間のロシア大会、前回は偶然にサッカーで被災地支援に取り組んでいる「ちょんまげ隊」と知り合い、そのボランティア精神に感銘し一緒に応援させてもらった。復興が遅れていた石巻牡鹿半島の中学生3人を募金だけで招待し、W・CUP応援とブラジル日系人社会からの多額の支援に対する感謝を伝える為であった。

今回は震災で今なお帰還困難区域に近い福島南相馬の中学生3人をW・CUPへ連れて行くプロジェクトに参加した。公的資金を期待せず民間ボランティアのみで、毎週のようにイベントを開催し小さな寄付の積み上げによって250万円という資金を確保し3人+添乗員派遣が可能となった。我々隊員は自費でサポートする。

(詳細は検索「トモにロシアへ」
<http://smile4nippon.com/football/18031Itomoshi>)

私は6月17日別ルートにてモスクワへ向かった。夕方5時に空港へ着き集合場所のレストランへ向かった。モスクワは30年前旧ソ連時代にヨーロッパへ渡航時に奇った。当時アエロフロートは安いが怪しい事沢山あり、モスクワは忘れられない出来事があった街。

♪モスクワの夜は更けて

(1955年旧ソ連時代のスパルキア

ード記録映画曲だが世界中にヒットして、アメリカではジャズ風に日本ではフランク永井などが歌った)私の中学時代はこの曲で今は全く見る事ないフォークダンスを男女手をつないで踊った、甘酸っぱい記憶が蘇る。

ちょんまげ隊と中学生3人は6月14日成田からサンクトペテルブルグへ入り6月17日にモスクワへ移動している。集合はウクライナ料理店で、ウクライナのワインと料理を堪能した。夜10時を過ぎ夜が更けてきた。私のベッドはモスクワのターミナル駅のカザンスキー駅舎の中にあつて、1晩12000円のベッドから見える駅構内は24時間賑わっていた。



モスクワ・カザンスキー駅舎ホテル

モスクワ日本人学校とロシア人学校での交流

私はモスクワで合流した南相馬の中学生と試合を挟んで3日間帯同した。

6月18日午前中はモスクワ日本人学校を訪問し、小中学生の130人を前に福島県の現状を映像を使って報告、参加の生徒から質問が活発にあり、自己主張の社会に置かれていた子供たちの積極的態度が見えて嬉しかった。最後は日本から持参したトモロシアTシャツを配り全員で友好を育んだ。(Tシャツは漫画家高橋陽一氏オリジナル)



日本人学校小中学生 130人を前にして



ロシア人学校 青Tシャツプレゼント

午後には地元ロシア人学校で日本語を勉強している教室を訪問、ランチを共にしながら交流した。彼等の教室を見学しながらロシアの教育内容を知り驚くは演劇の舞台を持つ教室が有り衣裳部屋には伝統的な衣装が揃っていたこと。即興でパフォーマンスを行い楽しんだ。

サランスクの奇跡

さて、初戦が行われるロシア中西部のサランスク(モルドビア共和国)迄は寝台列車の移動となる、ロシアは鉄道網が整備されているが走る電車は古く鉄の塊が動く。各車両には女性車掌が多く乗車し、パスポートと予約票がチエックされる。途中深夜の2時過ぎにカナシユという駅で乗換、モスクワを出てから約18時間の移動である。カナシユ駅には第2次大戦中の遺品などが展示され、先日のモスクワでの学校と同じく歴史教育が身近にされている。朝の9時過ぎに到着。サランスク駅からスタジアム迄約3キロの道を対戦相手のコロンビアサポーターとのエール交換をしながら約2時間歩く。コロンビアサポーターが圧倒的に多い。ちょんまげ隊長の角田さんはちょんまげの様相なので写真撮影オフアアが多い。敵味方構わず一緒に撮影を楽しむ。



ちょんまげ隊集合写真

15時から始まった試合は直ぐに相手の反則で退場者を出し、香川のPK得

点から1人少ない相手に追加点をして、大方の予想に反して優勝候補でもあるコロンビアに日本が勝った。そして同行した年配女性のコロンビアサポーターに対する美談がメディアに載った。(検索「BuzzFeed 勝利の着物」私も集合写真に載っていた。

♪試合後「さらばシベリア鉄道」(曲：大瀧詠一1980年)

帰りは隣町のルザエフカに移動し夜9時発車の寝台電車でモスクワへ戻る。ルザエフカでは地元のイベントで駅前広場に人々が集まっていた。我々ちょんまげ隊が乱入し、彼等には珍しいのか写真撮影大会となった。日没は10時過ぎ、地元民との輪は発車時間まで続いた。夜半に早くも白々としてくる大地の中、さらばシベリア鉄道の曲が頭を巡り感傷的になる。



ルザエフカ駅広場

中学生3人と別れ赤の広場からサンクトペテルブルグへ

モスクワ赤の広場は青空だった。広場には地元ロシアの人々と各国のサポーターが集まりエール交換、写真撮影となる。

モスクワの公共交通は地下鉄、バス、路面電車と路線も多いが英語表記が殆どなくロシア人サッカーボランティア

アの人達が唯一頼りであった。料金は統一で1回45ルーブル(約80円)と安い。日本と物価の比較では食品、交通費など日本の1/3位である。タクシーも30分位走って500ルーブル(約700円)地元のレストランで3人で飲み食いし何と1500ルーブル(約2600円！)



聖イサキ大聖堂(赤の広場)

帰国する中学生3人を夕方空港で見送り、私はその足でもう一つの目的である芸術の旧都サンクトペテルブルグ(St. Petersburg)へ向かった。モスクワから空路1時間半、空港から市街地までバスと地下鉄で旧市街地が続く地区のホテルへと向かった。ネットでの予約サイトから安く、便利で安全そうな部屋を予約した。グーグルマップを活用しながら歩くも見つけられない。人に聞いてもロシア語しか返って来ず1時間余りグルグルマップ、看板は殆どなく入口のインターホンにネームプレートがあるだけで中々見つけれない。5階6階建の古い建物が並びそのホテルはその中の一軒の2階部分を改修して宿にしている。やつたどり着いた部屋は広く清潔でお湯の出るシャワーは2日振りだ(1泊8000円税込)考えてみると物価が日本の1/3とするとい値段ではある。ここに足かけ4日間滞在し芸術、文化を勉強し、サッカーは街中

のFAN・FESTで見ようと考えていた。取り敢えず夜10時でも十分に明るい街を散歩して、やつと動かないベッドに体を静めた。

ロシアより愛をこめて

(映画007第2作、From Russia With Love)

映画007は初回から半世紀が経った。私がおの心ついた時期とも重なり強く記憶に残っている。中でも2作目の「ロシアより愛をこめて」が好きだ。ダニエラ・ピアンキ演ずるソ連スパイ役は知性的で良い。と同時にマットモンローの主題歌がこの時代ビートルズと共に私を洋楽ジャンルへと導いた。帝政ロシア時代の首都であったSt.ペテルブルグは約250年前の建物が川沿いの景観を統一感と重厚感とそしてロマンティックな街並みを醸し出している。何しろ建物が大きく曲がり角まで遠い。古い建物の間に時折現代建築が建てられているがヨーロッパと同様に建物と違和感がないようにデザインされている。大いに参考になる。



サンクトペテルブルグ 運河夜景

歩き疲れて運河巡りの遊覧船に乗った。流れる兩岸の景観は映画のエンディングの風景だ。ピアンキとボンドが川に重要テープ投げ捨てる、マットモンローの歌が流れる。曲と景観が一体になる。

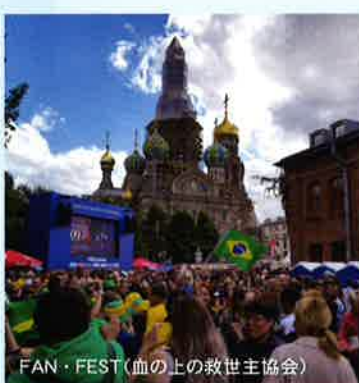
下船して川沿いを歩いていると男三人が酒盛りをしている。常に首からFAN IDをぶら下げていると興味あるサポーターは絡んでくる。珍しく英語で話しかけてきた、船乗りで世界中を回って日本にも立ち寄ったことがあると。キツクイ酒を2杯飲まれた。



川辺りの酒盛り

FAN・FEST (パブリックビューイング)

中日にはブラジル対コスタリカ戦を血の上の救世主教会の裏庭に設置されたパブリックビューイングで観た。スタジアムの感動は無いが、南米同士の戦いとあって大勢で画面に向かって大勢で画面に向かって声を上げるのも楽しい。



FAN・FEST(血の上の救世主協会)

建ての建築。面白いのは時のお妃の趣味によつて部屋が赤一色であったり白で統一されていたり、その部屋に展示品が置かれているが、私はその部屋ごとの趣向に目を見張った。

St.ペテルブルグを訪れたらチャイコフスキーをフルオケで聴きたいと思っていた。何しろ場当たり旅なので予約はしていないが、小オケで週末演奏している館を見付け最後の夜とした。ロシア代表的作曲家作品のエッセンスを聞かせてくれる。若手の素晴らしい演奏家によってロシアの重厚な伝統を感じた夜だった。

ロシア食文化研究

何処へ行つても市場には必ず立寄る。食材を見ると想像が膨らむ。日本でも一般的に食べられるピロシキやビーフストロガノフなどのロシア料理。しかし今回ハマった食べ物にニシンの塩漬けとピーツのマヨネーズ錦糸卵トッピング。セリユートカと発音されていた。サイドデッシュの一品。それと市場で量り売りされているモツツアレラチーズ。お豆腐のようで、ナチュラルで美味い。



セリユートカ(ヒーツとニシン塩漬け和え)

市場のチーズ売り

れ、その国の10都市前後で行われる。この時でない絶対訪れることが無い町へ多くの海外サポーターが訪れる。たかが1スポーツの祭典であるがオリピックより楽しむ人口が多いのも特徴。国の文化水準が現れる。幾つかの街を訪れてロシアの印象は鉄の塊、単純に現れるもの建築や手摺や鉄道や外灯など全て鉄である。またそこに暮らす人も表情は硬い、笑わない、アールミは無い、鉄っぽい。

地下鉄は日本の3倍も深く先が見えない位のエスカレーターで上り下り、この鉄の響きは旅程中ずーと通奏低音の様に体感していた。外交的にも固そうな音ばかりで、明るい音でこの国の旋律を変えられるかと感じて止まない。次回は2022年カタルドで初めての冬の開催となる。中東での開催は興味深い、カタルドで語たゝるかな！

おぼれ話

行き帰りの機内で2本のロシアを舞台にした映画を観た。

1本は「レッドスパロー」原題REDD SPARROW、本年3月封切りハリウッド映画。現代のロシアを舞台にしたスパイ映画でロシアの暗い部分が良く描かれている。

もう1本はロシア映画で「スポットライト」原題LIGHT UP。日本で7月の国際Dシネマ映画祭2018に出品された。歌に目覚める女刑務官と女囚達との葛藤を描いている。現代ロシア社会が見えて面白かった。原語だったが改めて日本で見たいと感じた作品。2作品には私が感じた鉄っぽさが感じられるかも知れない。

終わりに サッカーW・CUPはオリンピックと同じ4年ごとに国対国の大会として開か

(2018年7月記)

函館中部高校 白楊ヶ丘同窓会の活性化を



白楊ヶ丘同窓会
会長 石井直樹

白楊ヶ丘同窓会東京支部親睦大会のご盛会を心からお喜び申し上げます。

3月1日は、中部高校の卒業式でしたが、東京支部からはご多忙のところ白川支部長にご出席をいただき誠にありがとうございます。異常に降雪の多かった今年でしたが、卒業式前日の天気予報は最悪で、何十年に一度の暴風雪が吹き荒れるであろうということで、この3月31日をもって教員生活にピリオドを打たれる中島校長にとりましては、予定通り挙行できるか否か、相当悩まれたことと思います。



幸い卒業式当日は、予報が外れ風雪はそれほどもなく、無事終えることができ、校長はもとより教職員の皆様は一樣に安堵の胸をなでおろしたとのことであります。その日の午後、例年通り卒業記念祝賀会が、卒業生、保護者そして教職員の参加のもとに楽しく、和やかに開かれ高校生活最後の有意義な時間を過ごしました。前年までは、この時間帯で白楊ヶ

丘同窓会の入会式も行われておりましたが、今年からは諸般の事情により前日の卒業式の事前打ち合わせの後に、同窓会入会式を行い、卒業生の皆様に理解をいただいたところであります。



同窓会は函館に本部がありますが、全国には、札幌、宮城、東京そして関西と4ヶ所の支部があり、計5ヶ所においてそれぞれ年に1回総会や懇親会を開催しております。同窓生の皆様が学校や勤務先などにより、それぞれが便利と思われる会場に出席していただき、同期はもとより先輩や後輩の皆様と母校の思い出や郷土函館の現況に思いを馳せ交流を図ることに、連携をより緊密にしていいただき周年行事など様々な機会での皆様の活動を通じて、母校の発展に貢献していただければと願っております。

全国的な傾向ですが、函館は、昭和59年をピークに人口減少が続いており、中部高校の生徒数も少なくなっております。この流れがいくずれは同窓会にもやってくる。本部、支部共通の悩みかもしれません。総会、懇親会には80期以降の出席者が少なく心配しております。同窓会は初めて出席するまでが億劫かもしれません。2回目以降は、気軽に出来るものと思われ。学校でも勤務先でも同窓会の存在をアピールしていただければ幸いです。終わりになりますが、東京支部の皆様の一層のご活躍とご健勝をお祈りいたします。

物故者 謹んでご冥福をお祈りいたします ※年会費払込票及び大会出欠葉書等にてお知らせがあった方です。

- ◆山内 正雄 (昭10年卒37期) 平成25年1月7日逝去
- ◆當作 保夫 (昭13年卒40期) 平成29年9月逝去
- ◆鈴木 勲 (昭15年卒42期) 平成29年7月12日逝去
- ◆井上 宏 (昭16年卒43期) 平成28年10月31日逝去
- ◆内海 孝 (昭16年卒43期) 平成28年8月8日逝去
- ◆柳谷 敏夫 (昭16年卒43期) 平成29年2月12日逝去
- ◆杉田 功 (昭17年卒44期) 平成28年6月27日逝去
- ◆大島 隆 (昭19年卒46期) 平成27年10月21日逝去
- ◆堤口 康博 (昭19年卒46期) 平成29年5月23日逝去
- ◆西郡 敏夫 (昭21年卒50期) 平成30年4月4日逝去
- ◆渡辺 慧二 (昭21年卒49期) 平成29年1月15日逝去
- ◆三谷 瑞穂 (昭23年卒51期) 平成27年7月22日逝去
- ◆山田 吾市 (昭23年卒51期) 平成29年5月25日逝去
- ◆小泉 龍彦 (昭25年卒52期) 平成29年11月27日逝去
- ◆長島 康 (昭25年卒52期) 平成29年10月6日逝去
- ◆神茂 裕 (昭26年卒53期) 平成29年3月18日逝去
- ◆多和田 裕 (昭26年卒53期) 平成29年3月30日逝去
- ◆町谷 碩思 (昭26年卒53期) 平成29年7月5日逝去
- ◆雨宮 昭一 (昭27年卒54期) 平成30年1月24日逝去
- ◆畑山 明 (昭27年卒54期) 平成30年2月23日逝去
- ◆三上 寛 (昭27年卒54期) 平成28年7月逝去
- ◆三上 邦男 (昭27年卒54期) 平成29年3月10日逝去
- ◆森 護 (昭27年卒54期) 平成29年5月14日逝去
- ◆三浦 昭夫 (昭28年卒55期) 平成28年8月15日逝去
- ◆山本 興太郎 (昭33年卒60期) 平成30年4月10日逝去
- ◆伊藤 政侑 (昭34年卒61期) 平成28年9月26日逝去
- ◆上原 勝雄 (昭39年卒66期) 平成28年7月7日逝去
- ◆天明 恒男 (昭39年卒66期) 平成27年5月28日逝去
- ◆林(佐藤)睦子 (昭39年卒66期) 平成27年4月6日逝去
- ◆宮田(阿部)ミヨ子 (昭39年卒66期) 平成27年8月逝去
- ◆平塚 平三郎 (昭40年卒67期) 平成30年1月6日逝去
- ◆三上 英治 (昭42年卒69期) 平成29年4月逝去
- ◆菊池 有人 (昭42年卒69期) 平成30年1月27日逝去
- ◆熊谷大橋美代子 (昭42年卒69期) 平成30年2月11日逝去
- ◆友安 重孝 (昭42年卒69期) 平成30年4月19日逝去
- ◆相馬 篤 (昭44年卒71期) 平成29年8月10日逝去
- ◆村林 邦彦 (昭51年卒78期) 平成29年8月29日逝去
- ◆山口 修 (昭56年卒83期) 平成25年2月4日逝去

会員短信

平成29年8月以降の会費の払込票と返信はがきのメッセージから



●馬越 道子 (S 26年卒 53期)
同期の友人が激減してしまいました。皆々様に宜しく。

●新谷 義克 (S 26年卒 53期)
御苦勞様です。

●伊関 ユキ子 (S 26年卒 53期)
いつも御案内を頂きありがとうございます。

●松田 守正 (S 27年卒 54期)
今年9月下旬に両膝を痛め(関節内出血他)一時は自力歩行をあきらめ、妻の死後8年続けてきた高齢者障害者リハビリ医療施設のボランティア活動を断念しようかとも思ったのですが、新しい装具をつけ、自身のリハビリに努めてすでにボランティア活動に復帰するまでに。今回の同窓会も介助なしに出られるようになりました。

●遠藤 宏 (S 27年卒 54期)
役員の方々が、いつも御苦勞さまで。54期五回会は年4回(3・6・9・12月)の第二火曜日に「学士会館」で昼食会を行っていただきます。13時開催ですので、万障繰り合せの上、ご参加ください。(世話係 遠藤)

●齊藤 弘孝 (S 27年卒 54期)
皆様の御健康をお祈り致します。元気でおります。

●納代 鉄也 (S 27年卒 54期)
返事遅れて申し訳ありません。体調不良の為、残念乍ら出席出来ません。御盛會をお祈り致します。

●沼崎 茂子 (S 29年卒 56期)
御連絡ありがとうございます。御盛會をお祈り致します。

●南卓夫 (S 29年卒 56期)
会報を送って頂きありがとうございます。欠席します。御盛會をお祈り致します。

●津田 恭一 (S 29年卒 56期)
毎日のお酒もおいしく無事平均寿命をクリアしました。この分だと東京オリンピック迄は大丈夫のようです。然しそんなに長命は望みません。決勝で函商に敗けた事がなつかしく思い出されます。元蹴球部。

●根上 義昭 (S 29年卒 56期)
足が思うように歩けなくなりましてので、あまり外出をしてないです。盛會でありますよう祈ります。

●川口(大島)千代 (S 30年卒 57期)
本年元旦で81才をむかえました。中部高校時代がなつかしいです。神奈川付近の同期生で、集まる機会を楽しんでいます。

●近藤 好介 (S 31年卒 58期)
御案内ありがとうございます。3年ほど都合がつかず欠席でした。今年はお席します。

●佐藤 元 (S 31年卒 58期)
ご盛會をお祈り申し上げます。

●五十嵐克至 (S 31年卒 58期)
ご案内ありがとうございます。

●岩間 征一郎 (S 31年卒 58期)
欠席続きですが、御盛會をお祈り致します。

●広田洋吉 (S 31年卒 58期)
ご盛會を祈念します。

●佐々木政良 (S 31年卒 58期)
所用があり出席できません。御盛會をお祝い致しております。

●越智 馨 (S 31年卒 58期)
御案内いただく度に担当期の幹事

の方々の御苦勞を思い感謝。有難うございます。なかなか出席出来ず残念です。

●柝澤 森二 (S 33年卒 60期)
芭蕉の「造化に随いて四時を友とす」の世界を心懸けています

●加藤(佐藤)三子 (S 33年卒 60期)
「東京白楊だより」毎年楽しみに読ませて頂いております。

●岩淵安隆 (S 33年卒 60期)
神田で昭和46年から刊行の「亀井勝一郎全集」を入手しました。昭和31年の日記の中に「10月6日上野発で函館へ出発、7日着：8日講演：」とあり、これが創立60周年での彼の講演でした。60数年前の光景が目に見えます。

●佐藤(間瀬)頼 (S 34年卒 61期)
東京白楊だよりVol.40会報40回記念号ありがとうございます。

●鎌形(野村)寛子 (S 35年卒 62期)
毎回東京白楊だより楽しみに拝見しております。支部のご発展お祈りしております。

●宮島(古川)曉美 (S 35年卒 62期)
なつかしい思い出をたぐり会報をあれこれ、読みつつ、色々な事を考えたりして、楽しかったです。

●板倉(大田)まろみ (S 35年卒 62期)
私たちが育った憲法を変えようという動きが強くなっています。子や孫たちの未来のためにも憲法特別に9条を大切にしていきたいと思

●馬越 道子 (S 26年卒 53期)
同期の友人が激減してしまいました。皆々様に宜しく。

●新谷 義克 (S 26年卒 53期)
御苦勞様です。

●伊関 ユキ子 (S 26年卒 53期)
いつも御案内を頂きありがとうございます。

●松田 守正 (S 27年卒 54期)
今年9月下旬に両膝を痛め(関節内出血他)一時は自力歩行をあきらめ、妻の死後8年続けてきた高齢者障害者リハビリ医療施設のボランティア活動を断念しようかとも思ったのですが、新しい装具をつけ、自身のリハビリに努めてすでにボランティア活動に復帰するまでに。今回の同窓会も介助なしに出られるようになりました。

●遠藤 宏 (S 27年卒 54期)
役員の方々が、いつも御苦勞さまで。54期五回会は年4回(3・6・9・12月)の第二火曜日に「学士会館」で昼食会を行っていただきます。13時開催ですので、万障繰り合せの上、ご参加ください。(世話係 遠藤)

●齊藤 弘孝 (S 27年卒 54期)
皆様の御健康をお祈り致します。元気でおります。

●納代 鉄也 (S 27年卒 54期)
返事遅れて申し訳ありません。体調不良の為、残念乍ら出席出来ません。御盛會をお祈り致します。

●沼崎 茂子 (S 29年卒 56期)
御連絡ありがとうございます。御盛會をお祈り致します。

●南卓夫 (S 29年卒 56期)
会報を送って頂きありがとうございます。欠席します。御盛會をお祈り致します。

●津田 恭一 (S 29年卒 56期)
毎日のお酒もおいしく無事平均寿命をクリアしました。この分だと東京オリンピック迄は大丈夫のようです。然しそんなに長命は望みません。決勝で函商に敗けた事がなつかしく思い出されます。元蹴球部。

●根上 義昭 (S 29年卒 56期)
足が思うように歩けなくなりましてので、あまり外出をしてないです。盛會でありますよう祈ります。

●川口(大島)千代 (S 30年卒 57期)
本年元旦で81才をむかえました。中部高校時代がなつかしいです。神奈川付近の同期生で、集まる機会を楽しんでいます。

●近藤 好介 (S 31年卒 58期)
御案内ありがとうございます。3年ほど都合がつかず欠席でした。今年はお席します。

●佐藤 元 (S 31年卒 58期)
ご盛會をお祈り申し上げます。

●五十嵐克至 (S 31年卒 58期)
ご案内ありがとうございます。

●岩間 征一郎 (S 31年卒 58期)
欠席続きですが、御盛會をお祈り致します。

●広田洋吉 (S 31年卒 58期)
ご盛會を祈念します。

●佐々木政良 (S 31年卒 58期)
所用があり出席できません。御盛會をお祝い致しております。

●越智 馨 (S 31年卒 58期)
御案内いただく度に担当期の幹事

の方々の御苦勞を思い感謝。有難うございます。なかなか出席出来ず残念です。

●柝澤 森二 (S 33年卒 60期)
芭蕉の「造化に随いて四時を友とす」の世界を心懸けています

●加藤(佐藤)三子 (S 33年卒 60期)
「東京白楊だより」毎年楽しみに読ませて頂いております。

●岩淵安隆 (S 33年卒 60期)
神田で昭和46年から刊行の「亀井勝一郎全集」を入手しました。昭和31年の日記の中に「10月6日上野発で函館へ出発、7日着：8日講演：」とあり、これが創立60周年での彼の講演でした。60数年前の光景が目に見えます。

●佐藤(間瀬)頼 (S 34年卒 61期)
東京白楊だよりVol.40会報40回記念号ありがとうございます。

●鎌形(野村)寛子 (S 35年卒 62期)
毎回東京白楊だより楽しみに拝見しております。支部のご発展お祈りしております。

●宮島(古川)曉美 (S 35年卒 62期)
なつかしい思い出をたぐり会報をあれこれ、読みつつ、色々な事を考えたりして、楽しかったです。

●板倉(大田)まろみ (S 35年卒 62期)
私たちが育った憲法を変えようという動きが強くなっています。子や孫たちの未来のためにも憲法特別に9条を大切にしていきたいと思

●二宮(清水)信子(S 37年卒64期)
編集の皆様ご苦勞様です
●谷口勝(S 38年卒65期)
充実した内容の東京白楊だよりを有難うございました。
●原一(S 40年卒67期)
安田君、松田君、ご苦勞様でした。
●山崎 徹(S 40年卒67期)
同窓会に関わる諸活動、お世話になりありがとうございます。白楊だよりも楽しませて頂いており

●田中(笹森)恵子(S 41年卒68期)
今年と同期会や法事で9月と10月に函館へ帰省します。新幹線のお陰でしょうか、いつになくホテルが取れません。聞くところによると外人客が多く、ホテルの増改築中で、予約が取りにくいとの事。函館が賑わうのは嬉しいのですがいつ迄続くのでしょうか？

●和田芳三(S 42年卒69期)
変わらず元気にやっております。
●佐川道行(S 42年卒69期)
お元気ですか？上野さんいつもお便りなつかしく読ませていただいております。感謝しています。

●斎藤(三上)裕子(S 42年卒69期)
会報とても楽しく拝見しました。同窓会も盛大に行われる事祈ります。

●瀬戸 武一(S 42年卒69期)
火ばしら会が盛況で何よりです
●河村 裕(S 42年卒69期)
いつも色々ありがとうございます

●近藤(瀬川)千寿子(S 42年卒69期)
いつも連絡ありがとうございます
●古川哲朗(S 44年卒71期)
今年はお便りの送付を手伝いました。これから同窓会に出来るだけ参加

●仁本 寛(S 44年卒71期)
いつも白楊だよりを送って頂き、ありがとうございます。
●川村 哲雄(S 44年卒71期)
平成29年度の同期会を6月17日(土)に、10年振りの都心での九段下「ホテルグランドパレス・芙蓉の間(3階)」で、我々71期の3年8組の担任だった水江彰一先生(60期)に今年も参加戴き、総勢22名で実施しました。最上階のラウンジでの2次会にも水江先生以下の大多数が残って楽しい宴が続きました。
●松山(中浜)雅子(S 45年卒72期)
皆様のご尽力に感謝いたします
●金丸 洋一(S 48年卒75期)
昭和48年卒も是非とももつと参加して下さい。
●松村 敦子(S 48年卒75期)
当日は勤務の為残念ながら欠席させて頂いていただきます。盛会をお祈り申し上げます。
●松本 修一(S 48年卒75期)
盛会を祈っています。
●久米 教子(S 48年卒75期)
いつも連絡をありがとうございます。私共の期への連絡のお役まで心から御礼申し上げます。お世話様になり誠にありがとうございます。
●高田 博行(S 48年卒75期)
皆様のご健勝と会の盛会を祈念しております。
●菊地 恵子(S 48年卒75期)
お世話様です。お知らせありがとうございます。札幌に転居して3年たちました。月に一度 高齢となった親のいる実家に行っています。地区の体育館で週3回のス

ポーツの継続を目標にし、いつの日か元気で集えたら嬉しいですよ。
●富田 剛(S 48年卒75期)
東京支部の盛会を祈念しております。岐阜県にて技術士事務所を開業し、日本技術士会中部本部の役員をしております。
●黒柳 仁/信子(S 48年卒75期)
退職後3年目となり、第二の職場で仕事をしています。それぞれ弟・妹が函館にいますので毎年帰つていますが函館の将来が心配です。
●角掛 康弘(S 48年卒75期)
ご案内ありがとうございます。
●千島 秀子(S 48年卒75期)
同窓の皆様のご活躍、会の盛会をお祈りしています。
●川村 進(S 49年卒76期)
退職後、日本語教師として若い留学生や技能実習生に日本語を教えています。
●宗像(駒井)弓子(S 49年卒76期)
いつもありがとうございます

●田村(大御堂)富実(S 49年卒76期)
会報40回記念号、おめでとうございます。永久保存したいと思っております。
●菅原(秋谷)真奈美(S 52年卒79期)
この度も会報を有難く読ませて頂きました。有難うございます。近々中国のウルムチでの生活が始まります。美しい天山山脈が楽しめます。
●小滝 亮太郎(S 53年卒80期)
いつもご案内ありがとうございます。時任町の中部高校、いつも懐かしく思い出しております。今日の私にとって、かけがえのない心の風景です。

●森野(新城)光代(S 54年卒81期)
セカンドアルバム是非購入させて頂きます。ご誠実に、私のたわいのない夢をかなえていただき有難うございます。
●萩野 洋一(S 54年卒81期)
今年の8月下旬9月上旬、2年ぶりに函館に帰りました。はじめて北海道新幹線に乗りましたが、連絡船の時代の、育ったころを考えると隔世の感があります。母校を訪ねてみましたが、あいにく工事中でした。恐らく、昔の面影はとっくに無いのでしようね。
●中里 孝史(S 60年卒87期)
幹事のみなさまの御苦勞に敬意を表します。
●長尾 麻里菜(H 19年卒109期)
毎年お誘い頂き、まことにありがとうございます。残念ながら都合がつかず、欠席させていただきました。皆様の益々のご健勝、お祈り申し上げます。
●土谷 海斗(H 26年卒116期)
来年度関東を離れるため出席希望します。
●飯山 若奈(H 29年卒119期)
白楊だより、楽しく拝見させていただきます。

●菅原(秋谷)真奈美(S 52年卒79期)
この度も会報を有難く読ませて頂きました。有難うございます。近々中国のウルムチでの生活が始まります。美しい天山山脈が楽しめます。
●小滝 亮太郎(S 53年卒80期)
いつもご案内ありがとうございます。時任町の中部高校、いつも懐かしく思い出しております。今日の私にとって、かけがえのない心の風景です。

●森野(新城)光代(S 54年卒81期)
セカンドアルバム是非購入させて頂きます。ご誠実に、私のたわいのない夢をかなえていただき有難うございます。
●萩野 洋一(S 54年卒81期)
今年の8月下旬9月上旬、2年ぶりに函館に帰りました。はじめて北海道新幹線に乗りましたが、連絡船の時代の、育ったころを考えると隔世の感があります。母校を訪ねてみましたが、あいにく工事中でした。恐らく、昔の面影はとっくに無いのでしようね。
●中里 孝史(S 60年卒87期)
幹事のみなさまの御苦勞に敬意を表します。
●長尾 麻里菜(H 19年卒109期)
毎年お誘い頂き、まことにありがとうございます。残念ながら都合がつかず、欠席させていただきました。皆様の益々のご健勝、お祈り申し上げます。
●土谷 海斗(H 26年卒116期)
来年度関東を離れるため出席希望します。
●飯山 若奈(H 29年卒119期)
白楊だより、楽しく拝見させていただきます。

●菅原(秋谷)真奈美(S 52年卒79期)
この度も会報を有難く読ませて頂きました。有難うございます。近々中国のウルムチでの生活が始まります。美しい天山山脈が楽しめます。
●小滝 亮太郎(S 53年卒80期)
いつもご案内ありがとうございます。時任町の中部高校、いつも懐かしく思い出しております。今日の私にとって、かけがえのない心の風景です。

●森野(新城)光代(S 54年卒81期)
セカンドアルバム是非購入させて頂きます。ご誠実に、私のたわいのない夢をかなえていただき有難うございます。
●萩野 洋一(S 54年卒81期)
今年の8月下旬9月上旬、2年ぶりに函館に帰りました。はじめて北海道新幹線に乗りましたが、連絡船の時代の、育ったころを考えると隔世の感があります。母校を訪ねてみましたが、あいにく工事中でした。恐らく、昔の面影はとっくに無いのでしようね。
●中里 孝史(S 60年卒87期)
幹事のみなさまの御苦勞に敬意を表します。
●長尾 麻里菜(H 19年卒109期)
毎年お誘い頂き、まことにありがとうございます。残念ながら都合がつかず、欠席させていただきました。皆様の益々のご健勝、お祈り申し上げます。
●土谷 海斗(H 26年卒116期)
来年度関東を離れるため出席希望します。
●飯山 若奈(H 29年卒119期)
白楊だより、楽しく拝見させていただきます。

●菅原(秋谷)真奈美(S 52年卒79期)
この度も会報を有難く読ませて頂きました。有難うございます。近々中国のウルムチでの生活が始まります。美しい天山山脈が楽しめます。
●小滝 亮太郎(S 53年卒80期)
いつもご案内ありがとうございます。時任町の中部高校、いつも懐かしく思い出しております。今日の私にとって、かけがえのない心の風景です。

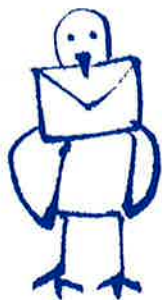
●森野(新城)光代(S 54年卒81期)
セカンドアルバム是非購入させて頂きます。ご誠実に、私のたわいのない夢をかなえていただき有難うございます。
●萩野 洋一(S 54年卒81期)
今年の8月下旬9月上旬、2年ぶりに函館に帰りました。はじめて北海道新幹線に乗りましたが、連絡船の時代の、育ったころを考えると隔世の感があります。母校を訪ねてみましたが、あいにく工事中でした。恐らく、昔の面影はとっくに無いのでしようね。
●中里 孝史(S 60年卒87期)
幹事のみなさまの御苦勞に敬意を表します。
●長尾 麻里菜(H 19年卒109期)
毎年お誘い頂き、まことにありがとうございます。残念ながら都合がつかず、欠席させていただきました。皆様の益々のご健勝、お祈り申し上げます。
●土谷 海斗(H 26年卒116期)
来年度関東を離れるため出席希望します。
●飯山 若奈(H 29年卒119期)
白楊だより、楽しく拝見させていただきます。

●菅原(秋谷)真奈美(S 52年卒79期)
この度も会報を有難く読ませて頂きました。有難うございます。近々中国のウルムチでの生活が始まります。美しい天山山脈が楽しめます。
●小滝 亮太郎(S 53年卒80期)
いつもご案内ありがとうございます。時任町の中部高校、いつも懐かしく思い出しております。今日の私にとって、かけがえのない心の風景です。

●森野(新城)光代(S 54年卒81期)
セカンドアルバム是非購入させて頂きます。ご誠実に、私のたわいのない夢をかなえていただき有難うございます。
●萩野 洋一(S 54年卒81期)
今年の8月下旬9月上旬、2年ぶりに函館に帰りました。はじめて北海道新幹線に乗りましたが、連絡船の時代の、育ったころを考えると隔世の感があります。母校を訪ねてみましたが、あいにく工事中でした。恐らく、昔の面影はとっくに無いのでしようね。
●中里 孝史(S 60年卒87期)
幹事のみなさまの御苦勞に敬意を表します。
●長尾 麻里菜(H 19年卒109期)
毎年お誘い頂き、まことにありがとうございます。残念ながら都合がつかず、欠席させていただきました。皆様の益々のご健勝、お祈り申し上げます。
●土谷 海斗(H 26年卒116期)
来年度関東を離れるため出席希望します。
●飯山 若奈(H 29年卒119期)
白楊だより、楽しく拝見させていただきます。

●菅原(秋谷)真奈美(S 52年卒79期)
この度も会報を有難く読ませて頂きました。有難うございます。近々中国のウルムチでの生活が始まります。美しい天山山脈が楽しめます。
●小滝 亮太郎(S 53年卒80期)
いつもご案内ありがとうございます。時任町の中部高校、いつも懐かしく思い出しております。今日の私にとって、かけがえのない心の風景です。

●森野(新城)光代(S 54年卒81期)
セカンドアルバム是非購入させて頂きます。ご誠実に、私のたわいのない夢をかなえていただき有難うございます。
●萩野 洋一(S 54年卒81期)
今年の8月下旬9月上旬、2年ぶりに函館に帰りました。はじめて北海道新幹線に乗りましたが、連絡船の時代の、育ったころを考えると隔世の感があります。母校を訪ねてみましたが、あいにく工事中でした。恐らく、昔の面影はとっくに無いのでしようね。
●中里 孝史(S 60年卒87期)
幹事のみなさまの御苦勞に敬意を表します。
●長尾 麻里菜(H 19年卒109期)
毎年お誘い頂き、まことにありがとうございます。残念ながら都合がつかず、欠席させていただきました。皆様の益々のご健勝、お祈り申し上げます。
●土谷 海斗(H 26年卒116期)
来年度関東を離れるため出席希望します。
●飯山 若奈(H 29年卒119期)
白楊だより、楽しく拝見させていただきます。



短かった3年が、長〜いその後の始まり

72期(1970年卒)東京同期会「東京さつき会」は
毎年5月第3土曜日に開催!

来年は・・・ 2019年5月18日(土) 17時より

72期東京同期会(東京さつき会)

(広告協賛)渡部総合法律事務所 新宿御苑前 電話03-3355-5415(代)



お台場で BBQ!

第2回 新人歓迎会

日時：2018年6月9日（土）11時00分～14時15分
 場所：デジキュー BBQ CAFE デックス東京ビーチ店
 （東京都港区）
 会費：学生1000円、学生以外は5000円

開会挨拶：白川支部長 乾杯：依田洋次様（63期評議員）
 閉会挨拶：垣坂副支部長 司会進行：松永副支部長

- | | |
|------------|----------------------|
| 120期 大橋 凌 | 76期 白川 正広（支部長） |
| 120期 林 駿哉 | 76期 高野 勝弘（副支部長） |
| 120期 米谷 優河 | 78期 岡部 あさ子（副支部長） |
| 119期 上 貞 冴 | 78期 垣坂 清（副支部長） |
| 119期 梅崎 智之 | 81期 松永 久（副支部長） |
| 119期 佐藤 凱斗 | 71期 加納 元雄（理事） |
| 119期 瀬川 烈矢 | 73期 山田 朗（理事） |
| 63期 伊東 明 | 81期 渡辺 由美子（理事） |
| 63期 土橋 道子 | 83期 田口 志保（理事） |
| 63期 中野 陽子 | 87期 荒谷 修司（理事） |
| 63期 中村 崇 | 99期 朝緑 高太（理事） |
| 63期 依田 洋次 | 88期 村田 雅彦（今年度親睦会幹事） |
| 87期 阿部 文快 | 88期 川守田 正也（今年度親睦会幹事） |
| 87期 荒井 理恵 | 88期 菊池 なぎさ（今年度親睦会幹事） |
| 87期 池田 智之 | |
| 87期 古川 祥司 | |
| 87期 渡辺 岳夫 | |

120期3名、119期4名、
 88期3名、87期5名、63期5名、理事11名

参加者合計31名



「もっと多くの人に参加してほしいと思いました。」



「みなさんとても親しみやすく話やすかったです。」

「大先輩の方々とお話しできる良い機会ですね。とても満足しています！次回のこのような集まりは120期生がもっと参加しているといいですね！」

ぶりっぶりです

63期より食材の
 差入れ頂きました！
 （最後アイスクリームまで）



ポプラ会 第44回・第45回ゴルフコンペご報告

ポプラ会ゴルフコンペは、白楊が丘同窓会の会員でゴルフをされる方はどなたでも参加できるものです。年1回開催の年もありましたが、会員の皆様からのご要望があり、ここ数年は、春～夏と秋～冬の年2回開催しております。2017年秋冬の第44回および2018年春夏の第45回の結果を報告致します。いずれも、個人戦を新ペリア方式で競い合いました。

第44回 ポプラ会ゴルフコンペ



日時:2017年11月27日(月)
ゴルフ場:浦和ゴルフ倶楽部
参加者:16名

優勝 64期 上田 健司氏
2位 76期 山谷 真児氏
3位 67期 安田 康次氏

晴天に恵まれ、秋のたいへん爽やかな気候のなかでプレーすることができました。

第45回 ポプラ会ゴルフコンペ



日時:2018年6月4日(月)
ゴルフ場:浦和ゴルフ倶楽部
参加者:16名

優勝 67期 安田 康次氏
2位 72期 古旗 邦夫氏
3位 72期 松本 浩氏

梅雨入り宣言はあったものの、当日は晴天に恵まれ良いコンディションになりました。

次回は、秋～冬の会として、11月下旬～12月上旬頃に開催予定です。ゴルフをされる皆さんはまだまだ大勢おられるものと思います。参加ご希望の皆さまは、ぜひ、同窓会事務局までご連絡ください。あわせて一緒にゴルフ幹事をやっていただけの方を募集しています！

目黒たみを (第68期 昭41年卒)

2005年から約4年かけ愛艇DHRMA号で単独世界周航敢行。東京白楊だより第33号(H22)に航海報告掲載。現在、Laser級ヨット、グレートグランドマスターズ部門でヨットレース参戦中。《問合せ》meguro_dhama@jcom.home.ne.jp

平成29年4月吉日 目黒たみを

心より念じております。尚本書では、目新しい用語がいくつか使用されています。それらは最初の出現時に「*」で示しました。監修者の言葉と共に巻末の用語解説を参照して下さい。

余年前は「舵」(編集部)の後押しと、江ノ島を中心に活動しているプライベートコーチの荒井さんの協力を得て刊行する運びとなりました。お二人の真摯な協力を始め、作業の過程で当方の無理難題に快く応じてくださった幸文堂の田口社長他、お世話になった多くの皆様に心より感謝申し上げます。老若男女、初心者からオリンピックを目指す上級者まで、本書が皆様のスキルアップにつながることを

東京臥牛会第4回ゴルフコンペご報告

在京の函館市内の公立高校5校(中部高校、西高校、東高校、商業高校、工業高校)の同窓会の連絡・情報交換の場として「東京臥牛会」が2010年に発足しています。その構成会員の親睦を図ることを目的として、2015年から新ペリア方式の個人戦によるゴルフコンペが行われています。西高校が幹事校の第4回は、2018年の4月に開催されました。結果を報告致します。

第4回 臥牛会ゴルフコンペ



日時:2018年4月12日(木)
ゴルフ場:取手桜が丘ゴルフクラブ
参加者:27名(うち中部参加者9名)

優勝 森 英爾氏(西高校)
2位 岡安恵美子氏(東高校)
3位 成田秀信氏(中部高校71期)
女子ベストグロス賞
佐藤禎子氏(中部高校・72期)

この行事も軌道に乗ってきました。今後、幹事校は持ち回りで、毎年、春に開催される予定です。次回は、来年の春、われわれ、中部高校が幹事校となります。引き続き多数の皆様のご参加を期待いたします。

白川正広(第76期)記

2017年4月24日第一版第一刷発行
著者 ジョン・エメット
翻訳 目黒たみを
監修 大谷たかを
査読 荒井かおる
表紙写真提供 Getty Images
裏表紙写真提供 松本和久
印刷 幸文堂
発行 ターマ出版



「勝利への道」訳書のご紹介

刊行にあたり訳者より

学生時代に始めたヨット好きが高じて、大学卒業と同時に自作艇で北海道から沖縄まで日本列島を一周。次の長期航海の資金と経験を蓄積するために、主として中近東石油地帯での石油開発技師として30年勤務。定年間で中途退職、目標としたケープホーン回航を含め、4年間に及び単独世界一周を無事完了。その後、生涯スポーツとして始めたのが、小型ヨットのレーザークラス。思うような上達が見込めないで、落ち込んでいた時に出会ったのが本書です。まさに求めている内容であることを確信し、さらに理解を深めるために、非才を顧みず取り組んだ翻訳でした。幸いレーザークラスの大谷さん(40

平成29年度収支実績および
平成30年度予算 (単位:円)

	29年度実績	30年度予算	
収入	年会費収入	1,479,000	1,550,000
	大会費収入	1,272,000	1,300,000
	寄付金収入	262,130	270,000
	会報広告収入	80,000	80,000
	その他	6	0
	合計	3,093,136	3,200,000
支出	大会関連費用	1,432,703	1,450,000
	会報関連費用	858,229	845,000
	諸会議費	213,236	215,000
	本部派遣費	178,550	150,000
	通信運搬費	197,556	190,000
	その他の運営費	328,693	330,000
	予備費	0	20,000
	合計	3,208,967	3,200,000
差引収支残	△115,831	0	
次期繰越剰余金	5,073,080	5,073,080	

日時:平成30年4月24日(火) 18:45~19:30
場所:インテリジェントロビー・ルコ D2会議室
新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル
出席者:31名

白川支部長の挨拶の後、以下の議案につき配布資料に基づいて審議が行われ、全議案とも承認された。

(1) 平成29年度事業報告

親睦大会、新人歓迎会、東京白楊だよりの発行、ホームページの充実、渉外活動、総務等。親睦大会は幹事期である87期の企画により「同窓生に楽しんでいただくこと」を目的としてプロのパフォーマーによるライブや87期の絵本作家なかいれい氏による展示、販売等が行われた。参加者も昨年より大幅に増加して171名となり盛況であった。新人歓迎会は昨年度初めての試みであったが、新人14名を含む29名がお台場でBBQを楽しんだ。

(2) 平成29年度収支決算報告

年会費納入者数は493名、昨年同様目標を達成することはできなかった。しかし、親睦大会参加者の増加や諸費用の節減により、収入合計3,093,136円、支出合計3,208,967円、差引収支残は115,831円と黒字にはならなかったものの赤字額は28年度から大幅に減少した。片瀬監事により監査をいただいた旨、報告があった。

(3) 平成30年度事業計画案

親睦大会、東京白楊だよりの活用、インターネットの活用、渉外活動、支部活動の活性化。今年度親睦大会は88期が幹事となり、グランドアーク半蔵門を会場に企画検討中。親睦大会への新人の参加増に繋がった新人歓迎会を引き続き開催する。松永副支部長(81期)をリーダーとする80期以降の理事有志によるチームを発足し、支部の活性化及び当面の課題解決について検討する。従来の「ホームページ班」を「ICTチーム」と改称・増員し、インターネット活用の強化を図る。

(4) 平成30年度収支予算案

昨年度の収入・支出額それぞれの実績を参考に、年会費収入の増額と諸経費の節減を織り込み、320万円の予算とする。

(5) 役員を選任及び異動の件

昨年の親睦大会運営の中心となった87期荒谷修司氏を新たに理事として選任し、これまで理事としてご貢献いただいた72期村田秀樹氏が退任。また評議員の54期納代哲也氏と55期加藤富蔵氏より退任のお申出があった旨口頭で追加された。

引き続き、同会場において会費制で懇親会を実施した。

渡辺由美子(81期) 記

年会費・ご寄付のお支払いが便利に!

従来、年会費、ご寄付のお支払いは、同封のゆうちょ銀行の「払込取扱票」でお願いしておりますが、「郵便局に行くのが面倒」「ホームバンキングや銀行ATMから振り込みみたい」との声があるため、今年から3メガバンクに口座を開設しました。こちらをご利用されるのが便利の方は、以下の注意事項をよくお読みの上、是非ご利用ください。

① 銀行口座名称:「白楊ヶ丘同窓会東京支部」

みずほ銀行 溝口支店 普通 2712051
三井住友銀行 鎌倉支店 普通 0202759
三菱UFJ銀行 用賀出張所 普通 0107761
ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキュー)店 当座 0124291

② 振込人氏名欄はスペースを空けずに、「期→卒年→氏名」の順でご記入ください。

例:71S44カノウモトオ

③ 振込手数料が必要な場合は、振込人負担でお願いいたします。

以上よろしくお願いたします。多くの方のお振込みをお待ちしております。 会計担当 S44卒 第71期 加納 元雄

ご寄付御礼 昨年度は27名の方からご寄付を頂戴いたしました。ここにお名前を掲載し、御礼に代えさせていただきます。

43期 神山茂郎/葛西善一郎	47期 堀田善和	54期 戸根一也	59期 新田正勝
44期 渡辺謙一	48期 藤谷千代三	55期 加藤富蔵	64期 二宮(清水)信子
45期 田沼修二	51期 小野寺吉彦	56期 大西孝司/原口(榎)久江/	73期 葛西浩
46期 多和田昭二/岡本榮二/渡辺保二	52期 小熊勇司	津田恭一/南卓夫/根上義昭	85期 柳川清尊/加戸茂樹
	53期 神茂様 ご令室 神昌子	57期 小竹(滝田)嘉子/越後明/川口(大島)千代	(敬称略)

白楊ヶ丘同窓会 東京支部 第42回親睦大会のご案内

東京白楊だより 41号

発行人 白楊ヶ丘同窓会東京支部
白川正広 (76期)
編集責任者 朝緑 高太 (99期)
発行日 平成30年8月25日

朝緑 高太 (99期)
平成30年8月25日

【東京事務所】

〒210-0846 神奈川県川崎市川崎区小田6-16-7
白川正広 044-366-2203

紙面デザイン ミライデザイン/イシバシキ

とき 2018年11月3日(土・祝) 13:00開演 (12:30~受付開始 15:30終了予定)

ところ グランドアーク半蔵門 **参加費** 8000円 学生無料 (ただし年会費3,000円納入者のみ通用・当日会場での納入可)



グランドアーク半蔵門 ご案内

〒102-0092 東京都千代田区隼町1番1号 tel.03-3288-1628

ACCESS

- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」1番出口より徒歩2分
- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」3b出口より徒歩3分
※3b出口はエスカレーター部分が1番出口より長く、荷物がある場合に便利です
- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」駅エレベーターより徒歩7分
- ・東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩7分
- ・JR「四ツ谷駅」より徒歩15分
- ・東京駅(丸の内南口タクシー乗り場)よりタクシーにて約10分

詳しくは … <http://www.grandarc.com/>

出演者紹介



バリトン歌手
松本 稔弘 (まつもと としひろ)

東京藝術大学音楽学部声楽科 平成2年卒業。
その後、イタリアパルマにて研鑽を積み、各地で演奏会に出演。声楽を三原重行、高文二、足田生次郎、ソーナ・ガザリアン、オスカー・ヒレブランド各氏に師事。オペラでは調布市民オペラ第1回公演『カルメン』、グルッポ・ジャンニーネ島根公演『ジャンニ・スキッキ』、コレギウム・ムジクオペラ『ボエム』他、『椿姫』、『仮面舞踏会』、『道化師』に出演。ベートーベン作曲『第9番』、フォーレ作曲『レクイエム』にソリストとして出演。現在、南生田混声合唱団、マザーアースの協力により後進の指導にあたり、ウィーンでのセミナーにも参加。
高声会会員、出雲楽友協会会員。

ピアノ伴奏者 **岩崎 由紀** (いわさき ゆき)

函館中部高校 昭和60年卒(87期)
武蔵野音楽大学 演奏学科 器楽コース
有鍵盤器専攻(ピアノ専攻)平成元年卒

白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様、毎年恒例の親睦大会のお知らせです。
会場は今年も、皇居の杜を臨むホテル「グランドアーク半蔵門」です。イベントの企画、運営担当は、東京支部の理事会のメンバーの方々と共に、昭和61年卒業の第88期が務めさせていただきます。
当日は大先輩から最近の卒業生までが、故郷の話や学生時代の話、近況など大いに語らい、親睦を深めていただければ幸いです。
皆さんは声楽のコンサート等に行かれる機会がございますか？中には、なかなか敷居が高くてという方も多いのではと思います。
そこで今年のイベントは、バリトン歌手の松本稔弘さんをお呼びして、ちよつとしたコンサートを企画いたしました。そして伴奏者には87期の岩崎さんに同窓会のために一肌脱いでいただけることになりました。声楽は、歌う人自身の身体全体が楽器です。世界に一つだけの歌声です。声楽には、歌詞があります。歌い手の心が表れます。
故郷を思い、気心の知れた仲間と、美味しいお酒と音楽で笑顔あふれる親睦大会に致しましょう。
是非是非、皆様お誘いあわせの上お集まりください。
(幹事一同)

函館の写真募集中!
事務局までお送りください。
kancyujp@yahoo.co.jp



2ページ写真
撮影者：吉岡直道 (第67期)
(函館在住・吉岡写真館)

今年4年に1度のサツカーW・Cup開催年でロシアに行った。上位に進んだチームは世代交代した国が多く若い選手が活躍した。特にイギリス、フランスは大部分の選手が入れ替わって躍進した。イギリスは近代文化を創ってきた国。受け継がれ、近代文化を創ってきた国。彼等から学ぶ事に伝承して変化を受け継ぎ、継続させる事に決して今のままを守る事ではない事、常に世界を見据えて戦術と戦略を創る。
若手が中にも世代交代時期を感じている。我が手の発想に学びたいと思っている。
(山田朗 73期)

気が付いたら、理事会出席メンバーの最年長になってしまった。
若い人たちの少くとも邪魔はしないように、そして少しでも役に立つことがあつたら役に立てるように、と念じながらここ数年関わっている。
会報作りも同じで、元からそうであるようにひたすら校正係に徹している。誤字脱字は固より、事実の間違いゼロを目指して全24ページをさらっているのだが、どこまでできたか、読者諸賢のご批判を仰ぐばかりである。
(加納元雄 71期)

先日、40歳になり、ふと、30代を振り返ってみた。いろいろとあつた30代。その中で、同窓会の東京支部での活動は、会社の繋がりと一味違う、良い感じの関わりと思う。
同窓会が真ん中であつて、それで、初めて繋がる世代の違う先輩後輩。これからは、もつと何か面白い事を一緒にして行きたいと思う。
そして、会報を読んでいただいている皆様。こんな事をやってみたい、との想いなど、気軽に教えてください。
(朝緑高太 99期)